

第3章 地域別構想

◇ 地域別構想の構成

ここでは七つの生活圏ごとに、その将来像や基本的発展方向、主要な施策を示します。

○ 地域の現状・特性

人口、産業構造等の主なデータや自然的・社会的特性、発展可能性等について記載しています。

○ 地域の課題

現状や特性を踏まえ、それぞれの地域の課題を抽出しています。

○ 地域の将来像

さまざまな主体の参画と連携による地域づくりの目標として、地域の将来像を掲げています。

○ 基本的発展方向

地域の将来像の実現に向けた主な取組みの方向を、地域の住民や市町村の意向を踏まえて示しています。

○ 主要な施策

特色ある施策や実施地区が特定できる主要な事業を中心に記載しています。

したがって、県全域を対象とする施策については、第2編基本計画において施策の展開方向が示されています。

なお、ここで挙げた主要な施策のすべてを県が自ら行うということではなく、これらの中には、地域の住民や市町村等の主体的な取組みを県が支援・協力するものも含まれています。

統計データについて

人 口 資 料：県統計調査課「福島県の人口（福島県現住人口調査月報）」
調査時点：平成11年10月1日

面 積 資 料：建設省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」
調査時点：平成11年10月1日

就 業 人 口 資 料：総務庁統計局「国勢調査報告」
調査時点：平成7年10月1日

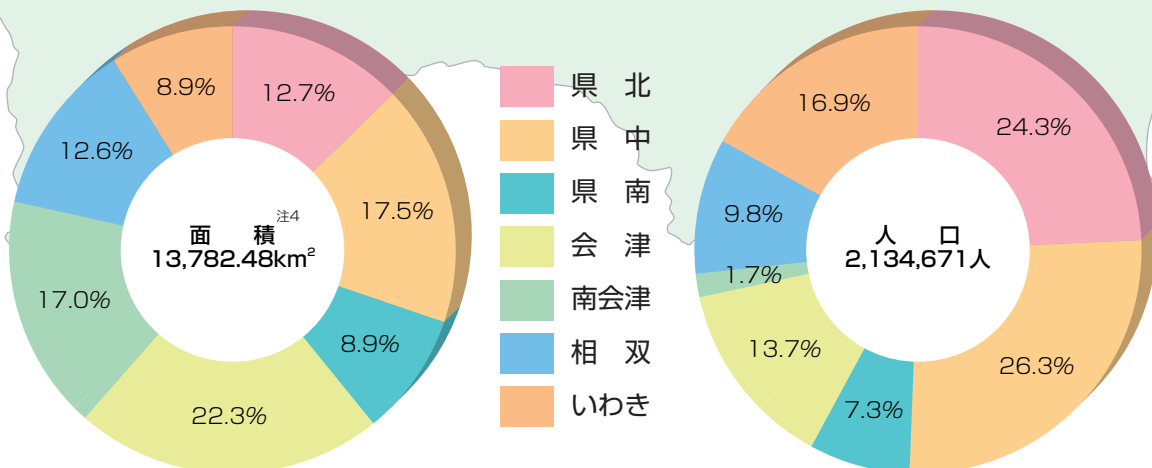
産業別総生産 資 料：県統計調査課「福島県市町村民所得の概要」
調査時点：平成10年度



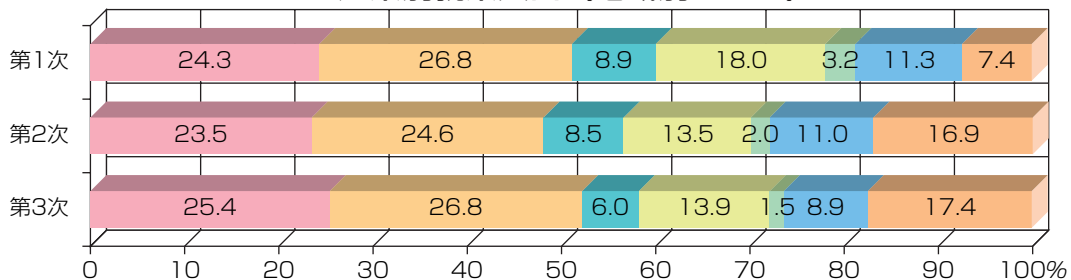
◇ 七つの地域の姿

福島県の概要

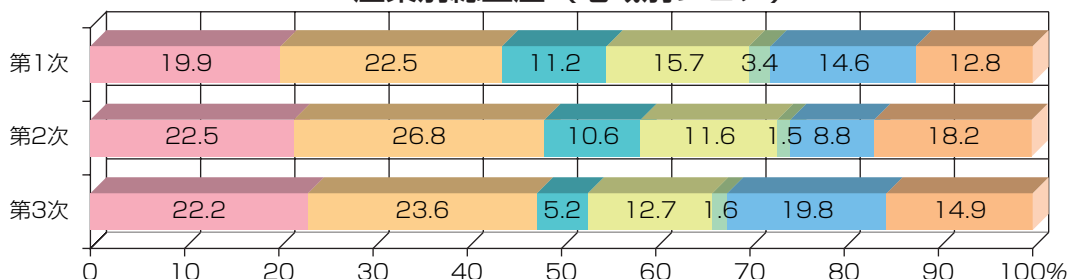
| | |
|-------------------------|--------------------------|
| 総面積(H11) | 13,782.48km ² |
| 総人口(H11) ^{注1} | 2,134,671人 |
| うち年少人口 | 350,655人 (16.4%) |
| うち生産年齢人口 | 1,364,893人 (63.9%) |
| うち老年人口 | 421,375人 (19.7%) |
| 就業人口(H7) ^{注2} | 1,087,442人 |
| うち第1次産業 | 117,560人 (10.8%) |
| うち第2次産業 | 392,816人 (36.2%) |
| うち第3次産業 | 575,236人 (53.0%) |
| 総生産額(H10) ^{注3} | 7兆8,344億6,931万円 |
| うち第1次産業 | 約1,518億円 (1.9%) |
| うち第2次産業 | 約3兆518億円 (38.0%) |
| うち第3次産業 | 約4兆8,337億円 (60.1%) |



産業別就業人口 (地域別シェア)



産業別総生産 (地域別シェア)



注1 年齢不詳があるため、年齢別人口の計と一致しない。

注2 分類不能を含むため、産業別就業人口の計と一致しない。

注3 その他及び帰属利子を控除しているため、産業別総生産の計と一致しない。

注4 会津、南会津地域の面積は、一部境界未定のため総務庁統計局において推定した概算値を使用。

◇ 七つの地域の将来像

この計画の基本目標

地球時代にはばたくネットワーク社会～とものつくる美しいふくしま～

地域づくりの基本目標

一人ひとりの参加で個性を磨く、魅力あふれるふるさと「ふくしま」

－ 多極ネットワークの新たな展開 －

地域の将来像のキーワード

『自然』～「美しいふくしまを彩る多様で豊かな自然」

「自然との新しい関係」

『調和』～「地域の調和でとものつくる新しいふくしま」

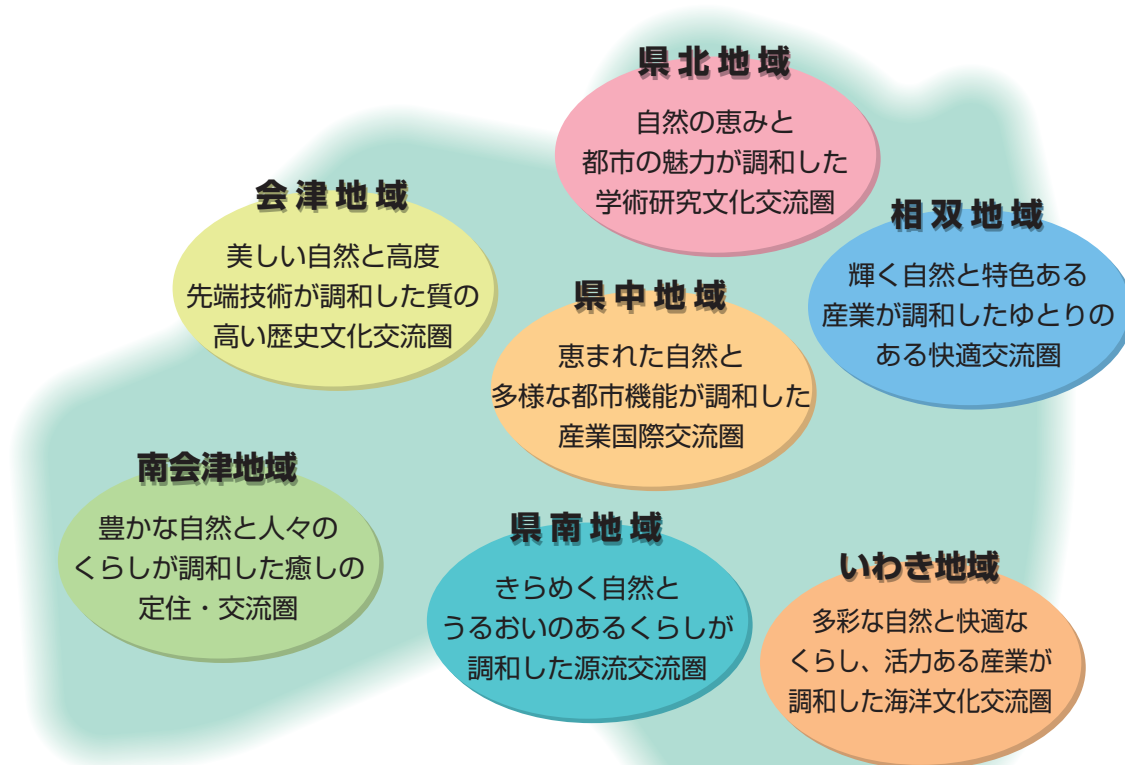
「人、くらし、環境の調和」

『交流』～「多極交流圏」

「交流により磨く個性」

「地域魅力の創造」

『自然』『調和』『交流』を地域づくりの共通のキーワードとし、それぞれの地域個性を織り込み、七つの地域の将来像を表しています。





県北地域



桃と菜の花



阿武隈急行線



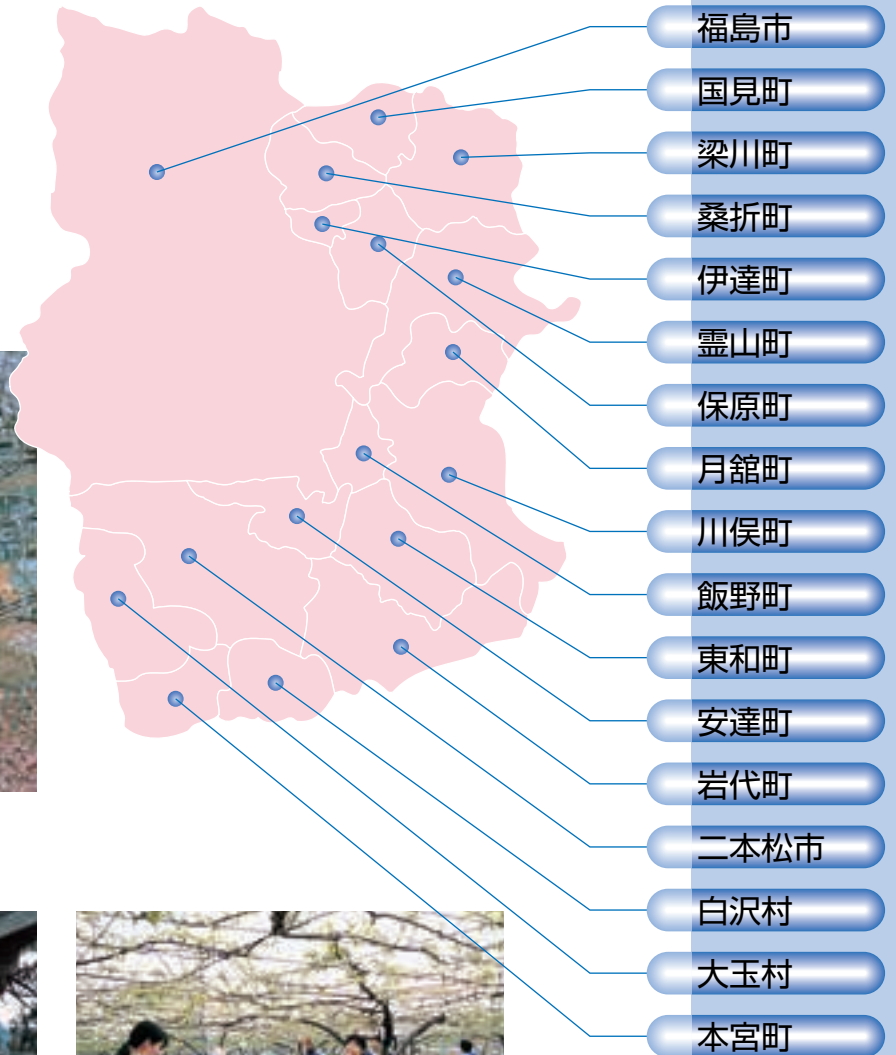
木幡の幡祭（東和町）



中学生のなし授粉作業（福島市）



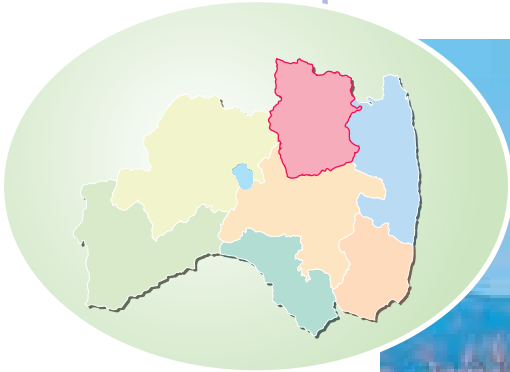
二本松青年海外協力隊訓練所における中学生の体験入隊





自然の恵みと都市の魅力が調和した
学術研究文化交流圏

県北地域



吾妻連峰（種まき兔遠景）

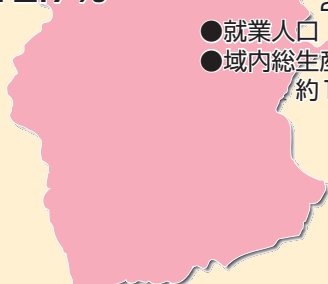
地域の現状・特性

- ◇ 県北地域は、県庁所在地である福島市を中心に高い工業集積を有するとともに、行政、教育・文化、商業、金融、医療などの高次都市機能の集積がみられ、本県の政治・経済・文化の中心的役割を担っています。
一方、阿武隈地域に位置する東部地区においては、生活や産業面での基盤整備の遅れがみられ、加えて、近年の地場産業の活力低下により、高速交通体系等の整備が進む西部地区との較差が拡大しています。
また、商業機能の郊外立地の進展などに伴い、福島市中心部の空洞化が急速に進行しています。
- ◇ 西に吾妻・安達太良連峰、東に阿武隈高地、中心部を阿武隈川が南北に流れるなど豊かな自然環境に恵まれ、自然公園や観光有料道路、数々の温泉地など、多くの観光資源を有するとともに、もも、りんご、なし等全国有数の果樹生産地帯を形成しています。
- ◇ 高等教育機関や文化施設、生涯学習施設の整備が進み、住民の多様で高度な文化的ニーズにこたえうる基盤が整いつつあり、また、「職・住・遊・学」の備わった新しい総合的な生活空間の創造をめざす福島地方拠点都市地域の指定を受けています。
- ◇ 東北自動車道、東北・山形新幹線などの高速交通体系の整備により、首都圏や隣接する宮城・山形両県と短時間で結ばれ、さらに、今後、東北中央自動車道の整備による相双地域や山形県との連携の強化が期待されています。

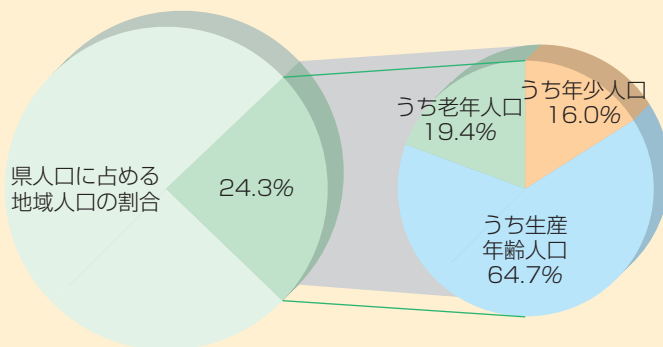
◇地域の概要

県面積に占める
地域面積の割合
12.7%

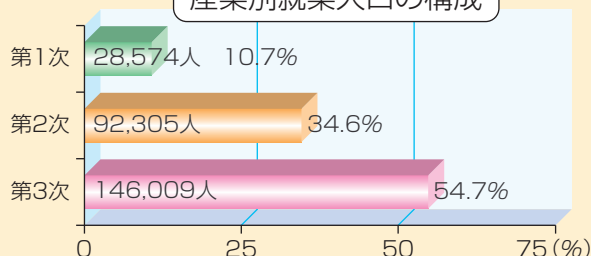
- 面積：1,753.42km²
- 人口：519,324人
- 構成市町村：2市13町2村
- 就業人口：266,888人
- 域内総生産：約1兆7,425億円



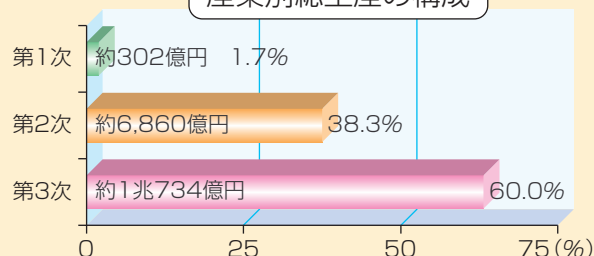
人口及び構成



産業別就業人口の構成



産業別総生産の構成



地 域 の 課 題

- ◇ 高等教育機関や行政・文化機能の集積を生かした先端的研究の推進や情報発信機能の向上及び新しい地域文化の創造が期待されています。
- ◇ 本県の工業生産を牽引する地域として、先端技術産業や研究開発型産業など創造型産業の集積の促進、異業種間の技術交流や産学官連携による研究開発ネットワークの強化とともに、地域経済を支える地場産業の活性化に向けた取組みが期待されています。
- ◇ 東部地区の振興のため、遊休桑園等を活用した特色ある農業の振興や繊維等の地場産業の活性化、新たな就業機会の創出を図るとともに、上下水道や道路網の整備など生活環境の向上を図る必要があります。
- ◇ 空洞化が進む中心市街地の活性化のため、行政、事業者、住民等の連携による取組みの強化を図るとともに、市街地の整備改善及び商業機能等の活性化を一体的に推進する必要があります。
- ◇ 生活圏全体の利便性の向上のため、二本松市等における都市機能の充実を図るとともに、高次都市機能を担う福島市と周辺市町村とのアクセス機能の強化や機能分担による連携・交流が望まれています。



地域の将来像

自然の恵みと都市の魅力が調和した学術研究文化交流圏

吾妻・安達太良山系や阿武隈の山並み、果樹王国ふくしまに代表される豊かな自然の恵みを享受しながら、教育・文化・行政の高次都市機能の集積や県内有数の工業集積を生かした質の高い知的創造活動が展開される学術研究文化交流圏の形成をめざします。

基本的発展方向

自然の恵みと都市の魅力が調和した
学術研究文化交流圏

知的創造拠点地域の形成

豊かな自然と都市機能が調和した
快適な生活空間の形成

産業振興と高度な産業構造の形成

連携・交流の可能性の高まりを
踏まえた広域交流圏の形成

知的創造拠点地域の形成

- ◇ 福島大学や県立医科大学などの高等教育機関の充実を図ります。
- ◇ 教育・文化、行政、研究機能の集積を活用した高度な学術研究の推進による知的創造拠点の形成を図ります。

豊かな自然と都市機能が調和した快適な生活空間の形成

- ◇ 二本松市等における都市機能の充実や、高次都市機能を担う福島市と周辺市町村との諸機能の分担と連携を図ります。
- ◇ 都市的なサービスとゆとりある居住環境、豊かな自然を併せて享受できる多自然居住地域のモデルとなる生活空間の形成を図ります。

産業振興と高度な産業構造の形成

- ◇ 先端技術産業や研究開発型産業の誘導、異業種間交流、産学官の共同研究開発による新産業の創出を図ります。
- ◇ 都市近郊型農業、グリーン・ツーリズムや観光農園等魅力ある農業の振興、伝統的地場産品の高付加価値化を図ります。
- ◇ 中心市街地の活性化により街なかのにぎわいを再生するとともに、広域連携による新たな観光ルートの整備を図ります。

連携・交流の可能性の高まりを踏まえた広域交流圏の形成

- ◇ 幹線交通網等の整備による地域内連携・交流の促進、東北中央自動車道を核とする北部軸の形成を図ります。
- ◇ 南東北中枢広域都市圏構想の推進により広域交流圏の形成を図ります。
- ◇ 阿武隈急行の活用や、阿武隈川を連携の軸とした県域を越えた広域的な交流の促進を図ります。



主要な施策

※全県的な施策については第2編基本計画（66P～198P）を参照してください

人

学校教育

- 福島高校、福島女子高校の男女共学化に伴う施設整備を図ります。
- 福島地区に学科転換による総合学科高校を開設します。
- 新しいタイプの定時制単位制高校を整備します。
- 豊かな自然環境を生かし、多様な体験学習ができる場の整備について検討します。

社会教育

- 高等教育機関の高い集積を生かし、生涯学習機会の拡充や施設の地域開放を進めます。
- 小中学生の体験入隊など、二本松青年海外協力隊訓練所を活用した国際感覚豊かな人材育成を進めます。
- 福島県男女共生センターの活用を図り、男女共同参画社会に向けた活動支援や人材育成を進めます。
- シンクタンクふくしまの活用を図り、企画能力の高い人材育成や地域づくりへの支援を行います。
- 体験学習やボランティアの実践活動の場として、フォレストパークあだたらの活用を図ります。

高等教育

- 資質の高い看護専門職者及び教育・研究者を養成するため、県立医科大学大学院への看護学研究科設置に努めます。
- 福島大学の自然科学系学部への設置に向け、積極的に国に働きかけます。



シンクタンクふくしまでの研修



青年海外協力隊地球体験キャラバン

くらし

| | |
|--------------------------------|--|
| <p>保健・医療・福祉</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○過疎地域など単独町村では保健福祉サービス提供体制の整備が困難な地域に対し、広域的対応への支援を行います。 ○県立医科大学医学部附属病院の施設・設備の一層の充実を図り、県民へのより高度で専門的な医療サービスの提供に努めます。 ○救急医療体制の充実強化を図るため、救命救急センターの整備を進めます。 ○福島県高齢者総合相談センターにおける相談・情報提供体制の充実を図ります。 ○老人性痴呆疾患センターを中心とした専門的相談・医療体制の整備を図ります。 ○身体障害者総合福祉センターや知的障害者更生相談所等における専門的な相談、指導及び情報提供体制の整備を図ります。 ○精神障害者の社会復帰のための基本的な生活訓練の場として、精神障害者生活訓練施設の整備を促進します。 |
| <p>生活交通</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○東部地区において、国道349号、399号、459号など主要な生活道路等の整備を進めます。 ○県北地域南部と県中地域北部との重層的な生活圏の関わりを視野に入れた生活道路の整備を進めます。 ○JR東北本線、奥羽線及び阿武隈急行線について、スピードアップや新幹線との接続ダイヤの改善など、利用者の利便性の向上に努めます。 ○阿武隈急行線について、沿線住民の足の確保や地域振興を図るため、沿線住民の利用動向等を総合的に勘案しながら関係自治体等との連携の下に支援を行います。 |
| <p>アメニティ</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○阿武隈川上流流域下水道事業（県北処理区）、阿武隈川あだたら流域下水道事業（二本松処理区）を推進します。 ○東部地区における農村部の生活環境の整備を図るため、上下水道の整備を促進します。 ○良好な住宅及び宅地の供給を図るため、住宅宅地関連公共施設整備促進事業を進めます。 |
| <p>文化・スポーツ・レクリエーション</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財の発掘調査や無形文化財の調査研究等の機能を有する福島県文化財センター安達館（仮称）の整備を図ります。 ○福島県文化センターについては、利用者の要望等に配慮しながら施設・設備の整備充実に努めます。 ○伝統芸能の継承など、地域が行う文化振興・交流の取組みを支援します。 ○県北地域における多様なスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、あづま総合運動公園の整備を図ります。 |



防災

- 治水機能の向上を図るため、阿武隈川、広瀬川、東根川等の河川改修等を進めるとともに、土砂災害を防止するため、寺沢砂防ダム等の砂防事業を進めます。
- 福島県消防学校の改築整備を図ります。



保育園児の養護老人ホーム訪問（福島市）



県立医科大学看護学部での実習

産業

農林水産業

- 果樹、野菜、花き、水稻、畜産、養蚕等において、農産物のブランド化を推進した産地づくりを促進し、生産性の高い都市近郊型農業の振興を図ります。
- 中山間地域においては、豊かな草地資源などを生かした畜産、地域特性を生かした工芸作物、きのこの振興を図ります。
- 性フェロモン剤を利用した減農薬栽培、農業用使用済プラスチックの適正処理などの環境保全型農業を実践する農業者等を支援します。
- 安定的に農業用水を確保するため、安達地区県営かんがい排水事業を推進します。
- 広域営農団地農道（阿武隈東部地区、安達東部地区）の整備を図ります。

商工業

- 福島駅西口に、県内中小企業の経営資源の高度化を総合的に支援する機能と県内の観光物産情報を提供する機能等を併せ持った複合拠点施設を整備します。
- 地場産業の技術開発力の強化を支援するため、ハイテクプラザふくしま技術支援センターの機能充実を図ります。
- 本社機能、管理機能を持つオフィスや研究所等を誘導する受け皿となる産業業務拠点（オフィスアルカディア）の整備を促進します。

観光・リゾート・
交流型産業

- 「みちのく歴史・文化回廊」など、浜通りや山形県、宮城県等と連携した広域観光ルートの整備を促進し、交流機会の拡大を図ります。
- 都市近郊の観光農園等の魅力を結び付け、グリーン・ツーリズムなど体験型交流ルートの整備を促進します。
- 摺上川ダム周辺において、温泉を生かした新たな観光拠点の整備を促進します。
- 本宮町において、高速道路と連結した都市公園の整備促進を図ります。
- 観光産業の新たな展開を図るため、地域が行う総合的観光振興プランの策定を支援します。



果樹育成教室
(女性にやさしい果樹セミナー) (福島市)



「フルーツひろば」 紺野由香梨 さん
(保原町立保原小学校)



福島駅西口複合拠点施設完成予想図

環 境

自然環境

- 県民が自然とふれあう拠点として、県民の森、フォレストパークあだたらオートキャンプ場の整備充実を図り、その積極的活用を促進します。
- フォレストパークあだたらを拠点に、豊かな森林づくりへの参加を促し、森林教育の実践を通して「森林との共生」の理念の広域的な普及拡大を図ります。
- 磐梯朝日国立公園裏磐梯地域とこれを囲む山岳地域において、自然環境の保全・修復と適正な利用・誘導を図るため、自然環境の調査や施設整備等を推進します。
- 磐梯朝日国立公園、霊山、霞ヶ城、阿武隈高原中部県立自然公園において、優れた自然環境や美しい自然景観を保全するとともに、自然に学び、自然とのふれあいを体験する場としての整備を進めます。
- 松川、祓川等において、魚や野鳥などの生物の生息環境や周辺の自然景観との調和に配慮した多自然型川づくりを進めます。



自然環境
(つづき)

○阿武隈川流域市町村が連携して行う水質改善の取組み等を支援します。



霊山の山並み（霊山県立自然公園）



箕輪門（霞ヶ城県立自然公園）

基 盤

情報化

○福島市のテレトピア構想、伊達町のフルーツバスケット事業など、地域が行う高度情報化への取組みを支援します。

広域交通

- 東北中央自動車道について、福島～米沢間が早期に整備されるよう促進するとともに、残る区間についての早期事業化に努めます。
- 高速道路へのアクセス性を高めるとともに、地域の開発振興に資するため、大笹生インターチェンジの整備促進を図ります。
- 一般国道13号福島西道路の4車線化及び南部への延伸を促進します。
- 県北地域における交通ネットワークの要となる国道4号、13号、114号、115号、349号、399号、459号、主要地方道等の整備を進めます。

中山間地域対策

- フォレストパークあだたらを拠点に、豊かな森林づくりへの参加を促し、森林教育の実践を通して「森林との共生」の理念の広域的な普及拡大を図ります。
- 都市近郊の観光農園等の魅力を結び付け、グリーン・ツーリズムなど体験型交流ルートの整備を促進します。
- 福島市、二本松市と周辺町村との機能補完・相互連携による自然と都市的利便性が調和した、双方向の快適な生活圏づくりを進めます。
- 「みちのく歴史・文化回廊」など浜通りや山形県、宮城県等と連携した広域観光ルートの整備を促進し、交流機会の拡大を図ります。

| | |
|-----------|---|
| | <p>○吾妻山麓や東部地区などの遊休農地等の利活用策について検討を進めます。</p> <p>○県、市町村、JA、農家等が一体となって東部地区の活性化をめざす総合的な振興プランの策定に向け、関係機関との協議を進めます。</p> <p>○テレビ、ラジオの難視聴地域において、共同受信施設の整備を促進します。</p> |
| 中心市街地対策 | <p>○福島駅周辺において、TMO（タウンマネジメント機関）の活動を支援し、魅力ある商店街の再生を進めるとともに、西口複合施設や幹線街路の整備、土地区画整理事業、優良建築物等整備事業等を促進し、快適で利便性の高い中心市街地の形成を図ります。</p> <p>○二本松市及び本宮町等において、TMOの活動を支援し、魅力ある商店街の再生を進めるとともに、土地区画整理事業、街路の整備等を促進し、快適で利便性の高い中心市街地の形成を図ります。</p> <p>○中心市街地活性化のためのバス利活用に対する取組みを促進します。</p> |
| 広域連携 | <p>○南東北中枢広域都市圏構想を推進し、福島市、仙台市、山形市など中枢、中核都市間の機能分担と連携により各地域の特性・資質を生かした広域都市圏の形成を図ります。</p> <p>○阿武隈地域総合開発事業を推進し、豊かな自然環境を生かした交流・保養ゾーン及び先端技術産業と良好な居住空間が調和した複合ゾーンの形成を図ります。</p> <p>○福島地方拠点都市地域整備事業を推進し、既存の中枢機能の拡充や新たな都市機能の導入、良好な居住環境の整備を進めます。</p> |
| 水・エネルギー対策 | <p>○安定的な水の供給を確保するため、摺上川ダムの早期完成を促進します。</p> |



フォレストパークあだたらでの自然観察会（大玉村）



フルーツバスケット事業（伊達町）



県中地域



七階滝（しちかいだき）（常葉町）



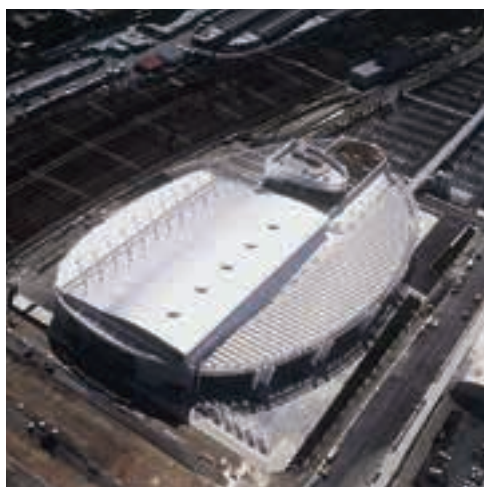
長沼まつり（長沼町）



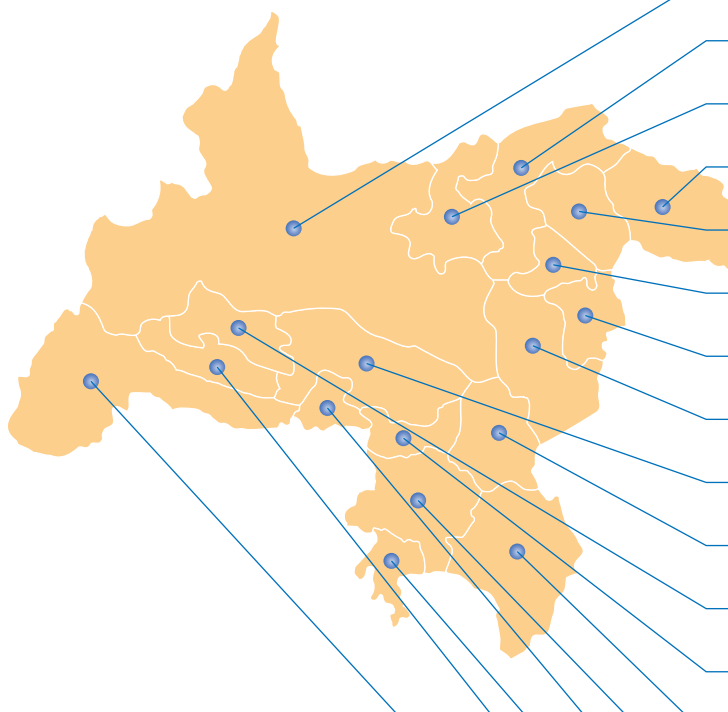
松明あかし（須賀川市）



東北及び磐越自動車道(郡山ジャンクション)



ビッグパレットふくしま



郡山市

船引町

三春町

都路村

常葉町

大越町

滝根町

小野町

須賀川市

平田村

岩瀬村

玉川村

古殿町

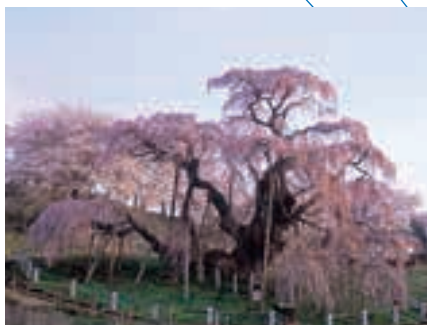
石川町

鏡石町

浅川町

長沼町

天栄村



滝桜（三春町）

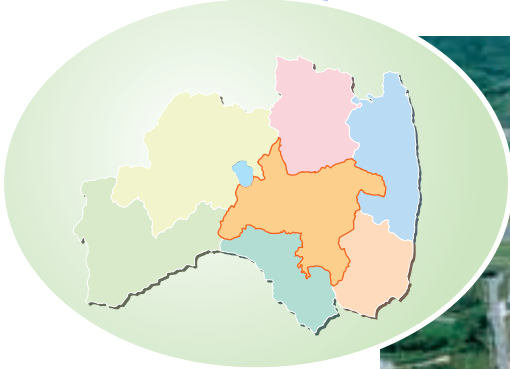


郡山市街とビッグアイ（駅西口再開発ビル）



恵まれた自然と多様な都市機能が調和した
産業国際交流圏

県中地域



福島空港



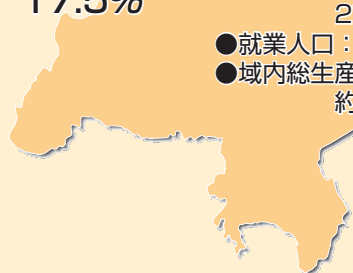
地域の現状・特性

- ◇ 県中地域は、県の中央部に位置し、県内すべての生活圏と接しており、都市機能が高度に集積する郡山市の求心力により、県北、県南、会津地域との重層的な生活圏が形成されています。
- ◇ 都市機能が集積した平坦部を阿武隈川が南北に流れ、その周囲を猪苗代湖や奥羽山脈、阿武隈高地など変化に富んだ自然が取り囲んでおり、都市的利便性と身近にふれあえる豊かな自然環境を併せ持った地域です。また、全域にわたって多様な観光資源と県内有数の観光ポイントが数多く存在しています。
- ◇ 東北地方で初めて中核市に移行した郡山市、福島空港を有する須賀川市を中心として、卸・小売業や製造業の集積が進み、本県産業の先導的拠点地域となっています。一方、全国的に評価の高い米や広域的ブランドを確立した夏秋野菜などを中心に県内一の農業粗生産額を有するとともに、広大な森林空間に恵まれた県内一の木材供給地域でもあります。
- ◇ 福島空港、東北新幹線、東北自動車道、磐越自動車道の高速交通体系に加え、福島空港・あぶくま南道路（あぶくま高原道路）等の整備により、ハイレベルな交通ネットワークが形成されるとともに、ビッグバレットふくしま等の広域的・国際的な交流基盤の整備が進んでいます。
- ◇ 生活圏全体としては人口が増加していますが、中山間部では人口流出が進んでおり、また、生活・生産基盤の整備の遅れが見られます。一方、近年の高速交通体系の整備進展の中で、阿武隈地域の豊かな自然、堅固な地盤等が高く評価され、「栃木・福島地域」の一部として、首都機能移転先候補地に選定されています。
- ◇ 新しい国土軸である北東国土軸と、日本海と太平洋とを結ぶ地域連携軸の結節点に位置し、国内外との人・もの・情報等の多様な連携・交流を通じ、新しい産業、文化等が創出されるポテンシャルを有しています。

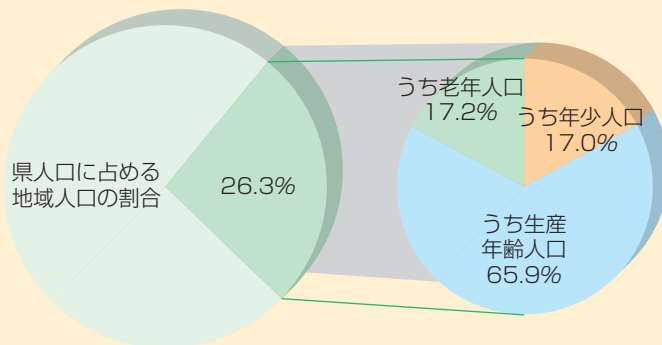
◇地域の概要

県面積に占める
地域面積の割合
17.5%

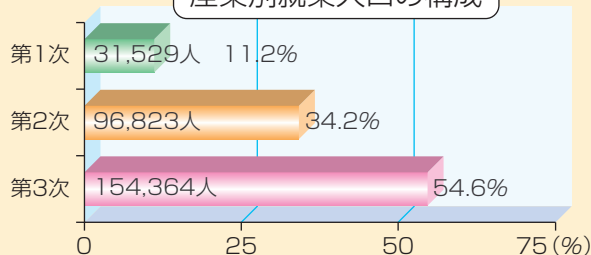
- 面積：2,406.29km²
- 人口：560,927人
- 構成市町村：
2市11町5村
- 就業人口：282,716人
- 域内総生産：
約1兆9,380億円



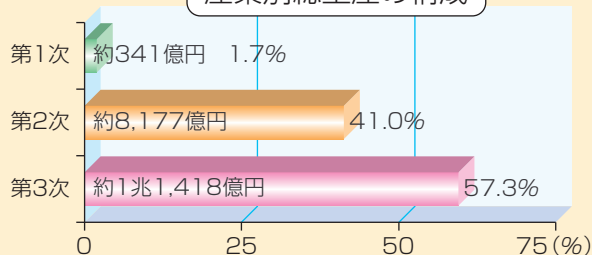
人口及び構成



産業別就業人口の構成



産業別総生産の構成



地 域 の 課 題

- ◇ 美しい都市景観の創出、潤いと個性に満ちた文化の振興、自然・環境と調和した緑豊かな生活空間の形成や多様な自然環境の保全・創造を図るとともに、誰もが安全で安心し、快適にらせる生活環境の整備を進めていくことが期待されています。
- ◇ 産業の高度化を図るため、これまでの産業集積と高速交通体系を最大限に活用しながら、先端技術産業、知識集約型産業、産業支援サービス等の集積を促進するとともに、技術の高度化や研究開発力の強化、新事業創出の支援、ベンチャー企業の育成などへの取組みを強化していく必要があります。
- ◇ 高速交通体系などの広域的・国際的な交流基盤の整備進展を踏まえ、本県のグローバル化を先導していくための役割を担うことが期待されています。
また、首都機能移転については、地域づくりの視点で主体的にとらえ、住民福祉の向上や地域の発展に結び付けていくことが必要です。
- ◇ 都市部と周辺町村部とのバランスのとれた地域を形成するため、生活圏内のネットワーク化を促進し、中山間地域の一層の振興を図るとともに、準生活圏における基礎的な都市機能の充実と快適な生活空間の創出を図っていく必要があります。



地域の将来像

恵まれた自然と多様な都市機能が調和した産業国際交流圏

猪苗代湖から阿武隈高地に至る豊かな自然と調和した都市機能・生活機能の整備充実を図り、新しい産業や文化を創出するとともに、整備の進む高速交通体系を生かした多様な連携・交流を通じ、国内外とのネットワーク形成を図る先導的地域をめざします。

基本的発展方向

恵まれた自然と多様な都市機能が
調和した産業国際交流圏

心豊かなライフスタイルが
展開できる地域の形成

高度産業・技術の集積を生かした
産業拠点地域の形成

国際・広域交流圏の形成

都市機能の充実強化と
地域内連携・交流の促進

心豊かなライフスタイルが展開できる地域の形成

- ◇ 健やかで快適な暮らしの実現に向けた環境整備を図ります。
- ◇ 文化の振興を図るとともに、自然環境の保全と創造を進め、自然との共生の下に、潤いと安らぎのある環境の創出を図ります。
- ◇ 地域に根ざした歴史・文化を生かした個性的で魅力ある地域づくりを進めます。

高度産業・技術の集積を生かした産業拠点地域の形成

- ◇ 先端技術産業等の誘導・充実強化を図ります。
- ◇ 産学官の連携・交流等による研究開発機能の充実を通じて、新しい産業や技術の創出を促進します。
- ◇ 高度技術の活用等による農業の振興や豊かな森林資源を生かした林業・木材産業の振興を図ります。
- ◇ 東北自動車道・磐越自動車道の結節点に位置し、地域内に福島空港と7つのインターチェンジを持つという優位性を最大限に生かし、産業経済の基盤となる物流機能の集積を図ります。
- ◇ 本県の産業経済を先導する拠点地域の形成を図ります。

国際・広域交流圏の形成

- ◇ 福島空港の国際空港化の推進による国際交流機能の整備と福島空港への交通アクセス機能の充実を図ります。
- ◇ コンベンション機能や観光レクリエーション機能等、広域的・国際的な交流拠点としての機能の充実強化を図ります。
- ◇ 首都機能移転の実現に向け、栃木地域をはじめ北東地域と連携した取組みを進めます。

都市機能の充実強化と地域内連携・交流の促進

- ◇ 地域の核となる郡山市及び須賀川市における都市機能の集積や、準生活圏における基礎的な都市機能の充実を進めるとともに、相互の機能分担と連携を図ります。
- ◇ 生産基盤の整備による収益性の高い農林業の振興や交流人口の増加による就業機会や所得の拡大を通じて、魅力ある中山間地域の創造を図ります。
- ◇ 地域内を有機的に結ぶ幹線交通網等の整備を進め、豊かな自然と都市的サービスを併せて享受でき、多様な連携・交流を展開するネットワーク型生活圏の形成を図ります。



主要な施策

※全県的な施策については第2編基本計画（66P～198P）を参照してください

人

| | |
|------|---|
| 学校教育 | <ul style="list-style-type: none"> ○安積高校、安積女子高校の男女共学化に伴う施設整備を図ります。 ○郡山駅西口再開発ビル内に定時制通信制高校を整備します。 |
| 社会教育 | <ul style="list-style-type: none"> ○高等教育機関の高い集積を生かし、生涯学習機会の拡充や施設の地域開放を促進します。 ○子どもたちが楽しみながら科学技術にふれる機会を創出し、次代の科学技術を担う創造性豊かな人材を育成するため、先端科学技術体験センターの整備を促進します。 |
| 高等教育 | <ul style="list-style-type: none"> ○大学院のサテライト校を活用した人材養成を促進します。 ○高等教育機関の開設等に向けた地域の主体的な取組みを支援します。 |



小学生の国際理解教室（船引町）



先端科学技術体験センター（須賀川市）

くらし

| | |
|----------|---|
| 保健・医療・福祉 | <ul style="list-style-type: none"> ○過疎地域など単独町村では保健福祉サービス提供体制の整備が困難な地域に対し、広域的対応への支援を行います。 ○地域保健の拠点施設としての機能を十分発揮できるよう、県中保健所の施設整備を図ります。 ○阿武隈中部地域における医療提供体制の充実に努めます。 ○心身障害児総合療育センターの専門機能を生かした総合療育体制の充実に努めます。 ○県中地域の児童相談体制について、県全体の在り方の中で検討します。 |
| 生活交通 | <ul style="list-style-type: none"> ○JR東北本線、磐越東線、磐越西線、水郡線について、スピードアップや新幹線との接続ダイヤの改善など、利用者の利便性の向上に努めます。 |

| | |
|------------------|--|
| | ○利用客の需要見込みや関係市町村等の取組み状況などを勘案しながら、東北本線への新駅の設置促進に努めます。 |
| アメニティ | ○阿武隈川上流流域下水道事業（県中処理区）、大滝根川流域下水道事業（田村処理区）を推進します。 ○良好な住宅及び宅地の供給を図るため、住宅宅地関連公共施設整備促進事業を進めます。 |
| 文化・スポーツ・レクリエーション | ○郡山市の柳橋歌舞伎などの伝統文化の継承活動や、須賀川市の国際短編映画祭などの世界への情報発信に向けた取組みを支援します。 ○県中地域における多様なスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、福島空港公園の整備を図ります。 |
| 防災 | ○県庁舎が被災した場合を想定し、県郡山合同庁舎の改築にあわせて県災害対策本部の代替機能と通信機能の整備を行います。 ○治水機能の向上を図るため、阿武隈川、桜川等の河川改修等を進めます。 |



八幡神社の流鏝馬（古殿町）



絵のぼりづくり（須賀川市）



健康相談（石川町）

産 業

農林水産業

- 水稻直播の推進等により、水稻の低コスト生産を促進するとともに、野菜、花き、果樹など都市近郊型農業の振興を図ります。
- 中山間地域においては、地域の特性を生かし、水稻と野菜、葉たばこ、畜産、きのこ等を組み合わせた生産性の高い複合経営の確立及び産地づくりを進めます。
- 農林技術の先端化・高度化及び多様な消費者ニーズに対応できる技術開発・研究の促進と普及の拠点施設として、農業総合研究センター（仮称）を整備します。
- 新安積地区及び隅戸川地区国営かんがい排水事業の促進を図ります。
- 広域営農団地農道（田村地区、石川地区、移南地区）の整備を図ります。



**農林水産業
(つづき)**

- 田村地方など県産材供給の核となる地域において、ブランド化、木材の生産から供給までの一体化等を進め、活力ある林業の振興を図ります。
- うつくしま未来博会場周辺において、県民参加による新たな森林づくり運動の実践拠点となる森林の整備を図ります。
- 農林業の体験や生産加工物、林産物の販売等を行う体験型観光施設の整備に向けた地域の実践拠点を支援します。
- 県中地区新地方卸売市場を中心とした生鮮食料品等の集荷、分荷機能の充実を促進します。

商工業

- リエゾンオフィスを活用しつつ、産学官連携により、地元企業の技術開発力の強化を図ります。
- 付加価値の高いものづくりを支援するため、ハイテクプラザを活用し、産学官連携、異業種間交流を進めます。
- 創造的な事業活動を行う企業や新分野に進出する企業等への支援体制の整備を進めます。
- 経済交流や人的交流を一層活発にするため、ビッグパレットふくしまを活用した企業間交流、情報交換、販路拡大などのさまざまな企業活動を支援します。
- 福島空港周辺地域において、通関機能や物流関連機能の集積を促進し、国際物流拠点の形成を図ります。
- 郡山ウェストソフトパーク、須賀川テクニカルリサーチガーデン、田村西部工業団地等への企業誘致の促進を図ります。
- 郡山インターチェンジ周辺流通業務団地への物流関連産業の集積を促進します。

**観光・リゾート・
交流型産業**

- 福島空港、ビッグパレットふくしま等を活用したコンベンションの誘致を図ります。
- 福島空港において、国内及び国外との新たな定期路線の開設を進めるとともに、CIQ体制の充実を国に働きかけるなど、交流機能の充実強化を図ります。



県中地区新地方卸売市場（郡山市）



花き栽培（郡山市）

環 境

生活環境

- ハイテクプラザを中心に、リサイクル、省資源・省エネルギー等のエネルギー環境対応に資する技術開発、普及を推進するとともに、環境関連産業の育成を促進します。
- 公共関与による廃棄物処理施設である県中地区環境整備センター（仮称）を整備します。
- 下水道の普及に伴い増大する下水汚泥を減量化するための広域的処理施設を整備します。

自然環境

- 猪苗代湖の水環境を保全するため、公共下水道、合併処理浄化槽の整備促進を図ります。
- 磐梯朝日国立公園、阿武隈高原中部、大川羽鳥県立自然公園において、優れた自然環境や美しい自然景観を保全するとともに、自然に学び、自然とのふれあいを体験する場としての整備を進めます。
- 逢瀬川、藤田川等において、魚や野鳥などの生物の生息環境や周辺の自然景観との調和に配慮した多自然型川づくりを進めます。

景観

- 福島県景観条例に基づく景観形成重点地域である猪苗代湖周辺地域において、優れた自然景観に配慮した施設等の整備の誘導に努めるなど、きめ細かな景観づくりに取り組みます。



片曾根山の山開き（船引町）



南川渓谷（郡山市）



風力発電（天栄村）



基盤

広域交通

- 磐越自動車道の4車線化を促進します。
- 高速道路へのアクセス性を高めるとともに、地域の開発振興に資するため、地域の開発動向を見極めながら、追加インターチェンジの整備について検討を進めます。
- 地域発展の核となる都市圏の育成、地域相互の交流促進、空港等の広域交流拠点との連携強化に資するため、郡山西環状道路、福島空港・あぶくま南道路（あぶくま高原道路）を地域高規格道路として整備を進めます。
- 郡山都市圏において、東部広域幹線の整備の必要性について検討します。
- 茨城県北部から東白川地方を經由し福島空港へ至る規格の高い道路の整備の必要性について検討します。
- あぶくま南道路の福島空港道路から白河間の整備の必要性について検討します。
- 福島空港アクセス道路として常磐自動車道と磐越自動車道を連絡し、福島空港・あぶくま南道路（あぶくま高原道路）に接続する定時性が確保できる道路について整備を進めます。
- 県中地域における交通ネットワークの要となる国道4号、49号、118号、288号、294号、349号、399号、主要地方道等の整備を進めます。
- 福島空港について、滑走路の3,000m級への延長に向けて、社会動向を見極めながら、その具体化を進めます。併せて、国内外の小型機の受入れ機能の充実について検討します。

中山間地域対策

- 「あぶくま洞」「こどもの国ムシムシランド」などの特色ある観光資源と、羽鳥湖や猪苗代湖周辺の近代的なリゾート施設を東北、磐越自動車道、福島空港・あぶくま南道路（あぶくま高原道路）等の高速かつ広域的な交通ネットワークで相互に連携させ、さまざまなニーズに対応できる交流圏を形成します。
- 農業総合研究センター（仮称）のバイオテクノロジー等先端技術を活用し、地域に適応した新品種や地域特産物の開発等による農業の振興と、豊かな森林資源を生かした林業・木材産業の振興を図ります。
- 「うつくしま未来博」を契機に、森と共生するくらしなど新たなライフスタイルの提案を踏まえた21世紀の地域づくりを推進し、全国へ向けた情報発信を進めます。
- ビッグパレットふくしまなど各種交流拠点やリゾート施設、都市・農村交流施設等相互の連携強化を図り、観光客等の滞留性、周遊性を高めるなど、多様な連携・交流を展開できる地域の形成を図ります。
- テレビ、ラジオの難視聴地域において、共同受信施設の整備を促進します。

| | |
|-------------------------|---|
| <p>中心市街地対策</p> | <p>○郡山駅周辺において、TMO（タウンマネジメント機関）の活動を支援し、魅力ある商店街の再生を進めるとともに、土地区画整理事業、幹線街路の整備等を促進し、快適で利便性の高い中心市街地の形成を図ります。</p> <p>○須賀川市及び三春町等において、TMOの活動を支援し、魅力ある商店街の再生を進めるとともに、土地区画整理事業、街路の整備等を促進し、快適で利便性の高い中心市街地の形成を図ります。</p> <p>○鏡石町等において、土地区画整理事業を促進するなど、良好な市街地の形成を図ります。</p> |
| <p>広域連携</p> | <p>○21世紀FIT構想を推進し、都市機能や産業業務機能などの集積を進め、魅力ある臨空都市の形成を図ります。</p> <p>○整備された高速交通体系を生かしながら、首都機能移転に関する取組みと連携しつつ、あぶくま新高原都市構想の推進を図ります。</p> <p>○磐越自動車道を介して短時間で結ばれているいわき地域や新潟県と、地域資源を相互に活用した広域的な交流を促進します。</p> <p>○高度な技術産業の集積、産学官の共同研究の推進、新事業創出の支援体制の整備等により、高度技術産業集積地域の維持・強化に向けた広域的取組みを促進します。</p> |
| <p>水・エネルギー対策</p> | <p>○安定的な水の供給を確保するため、今出ダム、こまちダムの建設推進を図るとともに、広域的な水資源の活用など、必要な対策について検討を進めます。</p> |



羽鳥トンネル（天栄村）



三春ダム（三春町）



県南地域



南湖公園（白河市）



雪割橋と甲子山（西郷村）



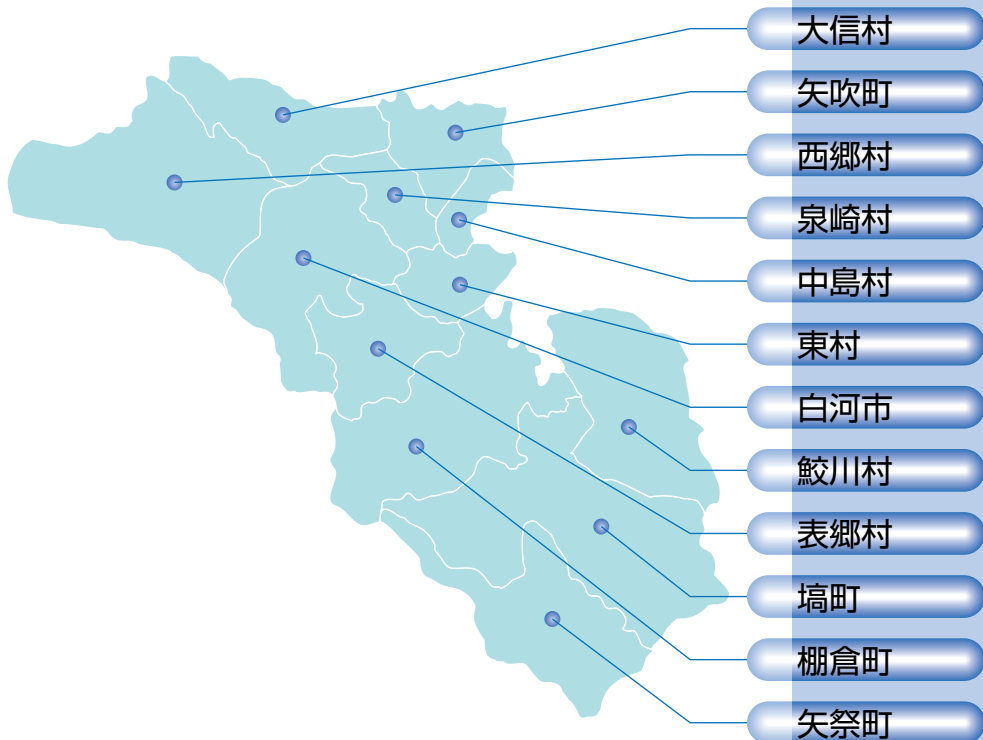
白河の関跡（白河市）



白河だるま市（白河市）



白河堤灯まつり（白河市）



久慈川のあゆ釣り（矢祭町）



童里夢公園のヨカッペ時計（中島村）

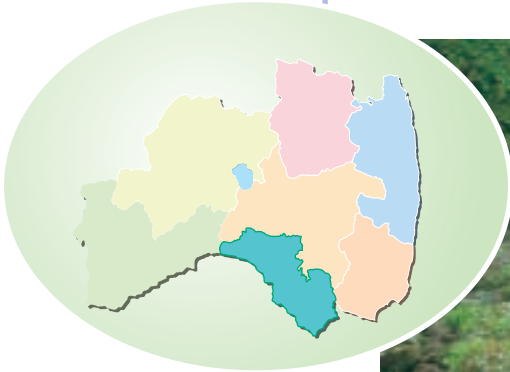


阿武隈川の源流 赤滝（西郷村）



きらめく自然とうるおいのある暮らしが
調和した源流交流圏

県南地域



江竜田の滝（鮫川村）

地域の現状・特性

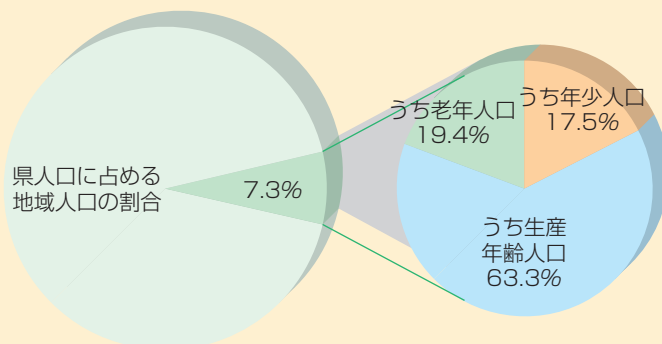
- ◇ 県南地域は、那須連峰や八溝山系を源とする阿武隈川、久慈川などのきらめく水の流れや緑あふれる森林など美しく豊かな自然に恵まれ、かつ、みちのくの玄関口として首都圏に隣接するという地理的優位性を有しています。
- ◇ 東北自動車道、東北新幹線、福島空港などの高速交通体系に加え、福島空港・あぶくま南道路（あぶくま高原道路）などの幹線交通網の整備進展に伴い、新たな発展の可能性が一層高まっています。さらに、「栃木・福島地域」の一部として、首都機能移転先候補地に選定されるなど、その優位性が高く評価されています。
- ◇ 北関東との広域的な連携や交流の促進によって、多面的な発展が可能な地域であり、これまでに整備された憩いの場・体験活動拠点、研修施設等の活用、さらには、「職・住・悠」の調和する新たな生活や産業の拠点の整備によって、交流・定住人口の増加が見込まれています。

◇地域の概要

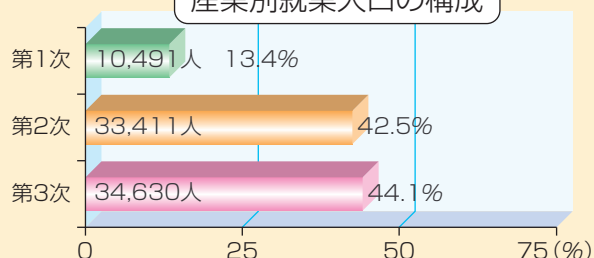
県面積に占める
地域面積の割合
8.9%

- 面積：1,233.24km²
- 人口：155,664人
- 構成市町村：
1市4町7村
- 就業人口：78,532人
- 域内総生産：
5,762億円

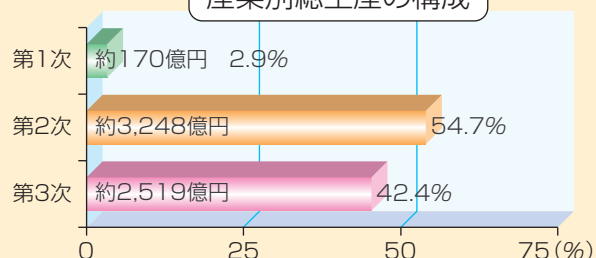
人口及び構成



産業別就業人口の構成



産業別総生産の構成



地 域 の 課 題

- ◇ 自然環境の保全を通じ、水源のかん養を進めることは、河川の源流部を擁する地域の特性を踏まえた取組みであり、下流域と連携し地域が一体となって豊かな自然を守り、未来へ伝えていくことが求められています。
- ◇ 南部軸の形成と東白川地方の活性化を図るため、北関東と東北、中通り軸と南部軸の結節点としての幹線交通網の整備を進めるとともに、浜通り軸との連携強化や、福島空港の利活用を視野に入れた、茨城、栃木両県とのアクセス交通網の整備を図る必要があります。
- ◇ 白河市における総合的な都市機能の充実強化や、準生活圏における基礎的な都市機能の整備により生活圏全体の利便性の向上を図る必要があります。
- ◇ 地域の内発的発展を支える創造的な地域産業の育成や地理的優位性を生かした企業誘致など、地域資源を活用した多様な産業の集積促進が期待されています。
- ◇ 地理的優位性を生かした首都圏への安定した農畜産物の供給推進や、県内有数の森林資源を生かした木材の安定供給、ブランド化の推進等により、活力ある農林業の振興を図る必要があります。
- ◇ 首都機能移転については、地域づくりの視点で主体的にとらえ、住民福祉の向上や地域の発展に結び付けていくことが必要です。



地域の将来像

きらめく自然とうるおいのあるくらしが調和した源流交流圏

高速交通体系によって首都圏と短時間で結ばれているという恵まれた条件を生かして、広域的な交流を一層促進し、美しい水面に象徴されるきらめく源流域の自然環境と産業・経済が調和した、心の豊かさとうるおいに満ちた生活圏の形成をめざします

基本的発展方向

きらめく自然とうるおいのあるくらしが
調和した源流交流圏

人と自然にやさしい
ゆとりあるくらしづくり

地域特性を生かした広域交流圏の形成

地域の核となる都市等における
都市機能の充実強化

創造的で活力ある産業の展開

人と自然にやさしいゆとりあるくらしづくり

- ◇ 緑や水辺空間の保全と整備・再生などによって、「源流の里」にふさわしい景観の形成や快適居住性に配慮した心豊かでゆとりある生活空間の創出を図ります。
- ◇ 特に、自然と共生した源流地域として、地域一体となって水源のかん養や河川の水質保全を進めます。

地域特性を生かした広域交流圏の形成

- ◇ 高速交通体系へのアクセス交通網や地域内外を結ぶ幹線交通網等の整備を進めます。
- ◇ 東京圏との近接性や源流域としての類似した地域特性を生かし、福島・茨城・栃木3県の県際地域が相互に連携した取組みを進めます。

地域の核となる都市等における都市機能の充実強化

- ◇ 生活圏全体としての都市機能を充実強化するため、白河市が担う総合的な都市機能と準生活圏の基礎的な都市機能との適切な機能分担と連携を図ります。
- ◇ 首都機能移転の実現に向け、栃木地域をはじめ北東地域と連携した取組みを進めます。

創造的で活力ある産業の展開

- ◇ 恵み豊かな自然など地域資源を生かした多様な農林業や観光の振興を図ります。
- ◇ 首都圏に隣接する地理的特性を生かし、企業誘致の促進と地域産業の振興を図ります。
- ◇ 県南地域の核となる商業ゾーンの整備を推進するとともに、現在整備中の新たな産業拠点を活用した工業の振興を図ります。



主要な施策

※全県的な施策については第2編基本計画（66P～198P）を参照してください

人

| | |
|------|--|
| 学校教育 | ○都市部の児童生徒が豊かな自然の中での生活を体験する山村留学など、都市農村交流の取組みを支援します。 |
| 社会教育 | ○福島県文化財センター白河館（まほろん）の整備を進め、利活用の促進を図ります。 |
| 高等教育 | ○高等教育機関の開設等に向けた地域の主体的な取組みを支援します。 |



福島県文化財センター白河館（まほろん）（竣工図）



夏休み子ども自遊学校（鮫川村）

くらし

| | |
|------------------|---|
| 保健・医療・福祉 | ○過疎地域など単独町村では保健福祉サービス提供体制の整備が困難な地域に対し、広域的対応への支援を行います。 ○総合社会福祉施設「太陽の国」について、計画的な改築整備を図ります。 |
| 生活交通 | ○ＪＲ東北本線、水郡線について、スピードアップや新幹線との接続ダイヤの改善など、利用者の利便性の向上に努めます。 |
| アメニティ | ○堀川ダム、西郷ダムにおいて、訪れる人の憩いの場となる親水空間の整備を図ります。 ○谷津田川において防災機能の整備にあわせて、歴史や環境との調和に配慮しながら、快適な歩行空間の創出を図ります。 |
| 文化・スポーツ・レクリエーション | ○伝統芸能や行事の継承など文化資源等を生かした地域づくりの取組みを支援します。 ○県南地域における多様なスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、県南広域公園（仮称）の整備を図ります。 |

防災

○治水機能の向上を図るため、阿武隈川、久慈川等の河川改修等を進めるとともに、平成10年8月末豪雨災害を踏まえ、急傾斜地崩壊対策や地すべり対策事業等を進めます。



堀川ダム（西郷村）



谷津田川河川激甚災害対策特別緊急事業完成予想図



上羽太天道念仏踊（西郷村）



痴呆予防教室（鮫川村）

産業

農林水産業

- 稲作、畜産、野菜を基本に、夏期冷涼な自然条件を活用した果樹、花き、工芸作物などとの複合経営による収益性の高い農業の振興を図ります。
- 本県の農業教育の拠点である県立農業短期大学校において、新規就農支援や農産物加工技術研修の一層の充実を図ります。
- 西白河北部の農業用水の安定的確保のため、隅戸川地区国営かんがい排水事業の促進を図ります。
- 広域営農団地農道（東白川地区）の整備を図ります。
- 本県の代表的な先進林業地域である奥久慈林業地域において、スギ、ヒノキの人工林の適切な管理や効率的な林業経営の展開を進めます。
- 奥久慈材のブランド化を推進するため、生産・流通・加工体制の整備を支援します。



商工業

○栃木県北部も含めた県南地域の核となる商業の集積を促進します。
○産業の高度化と先端技術産業等の集積を促進するため、工業の森・新白河、新白河ビジネスパークの整備及び企業誘致を進めます。

観光・リゾート・
交流型産業

○首都圏との近接性や特色ある交流拠点施設等を生かし、グリーン・ツーリズムなど、体験・滞在型観光の振興を図ります。
○栃木、茨城両県と連携し、那須・甲子や八溝山、久慈川などを活用した広域観光ルートの形成を促進します。
○道の駅の整備に向けた取組みを支援します。



奥久慈林業地域での間伐作業



山本満腹体験村（棚倉町）



里山まるごと体験学校（鮫川村）



トマトの選果場（中島村）

環 境

自然環境

○那須・甲子、南湖、奥久慈の優れた自然環境や美しい自然景観を保全するとともに、自然に学び、自然とのふれあいを体験する場としての整備を進めます。
○阿武隈川や久慈川等において、魚や野鳥などの生物の生息環境や周辺の自然景観との調和に配慮した多自然型川づくりを進めます。
○阿武隈川等を交流の軸とした流域連携により、地域づくり団体等が行う源流地域の自然環境保全に向けた取組みを支援します。
○地域を代表する貴重な動植物であるオオムラサキやビャッコイなどの保護・育成を図る地域の取組みを支援します。



八溝山の天然林（棚倉町）



オオムラサキ（鮫川村）



市民総ぐるみ市内一斉清掃（白河市）

基盤

| | |
|---------|---|
| 情報化 | ○白河市情報センターを拠点としたインターネット普及などの取組みを支援します。 |
| 広域交通 | <p>○南部軸の形成を図るため、国道289号甲子峠などの整備を進めます。</p> <p>○高速道路へのアクセス性を高めるとともに、地域の開発振興に資するため、地域の開発動向を見極めながら、追加インターチェンジの整備について検討を進めます。</p> <p>○茨城県北部から東白川地方を經由し福島空港へ至る規格の高い道路の整備の必要性について検討します。</p> <p>○あぶくま南道路の福島空港道路から白河間の整備の必要性について検討します。</p> <p>○国道4号の4車線化を促進します。</p> <p>○県南地域における交通ネットワークの要となる国道4号、118号、289号、294号、349号、主要地方道等の整備を進めます。</p> |
| 中山間地域対策 | <p>○河川を軸とした上下流連携により、緑や水辺空間の保全と整備、河川の水質保全など、「源流の里」にふさわしい先導的な取組みを展開するとともに、「循環の理念」の実践事例として情報発信を進めます。</p> <p>○滞在型交流施設の相互連携やいわき地域、南会津地域等との連携強化、21世紀FIT構想に基づく茨城県、栃木県との県際交流を促進するとともに、首都圏の人々が手軽にふれあえる魅力的な中山間地域として、広域的な交流圏の形成を図ります。</p> |



| | |
|------------------|---|
| 中山間地域対策 (つづき) | ○首都圏との近接性を生かした企業誘致や木材のブランド化等による活力ある地域産業の振興を通じた地域づくりを進めます。 ○テレビ、ラジオの難視聴地域において、共同受信施設の整備を促進します。 |
| 中心市街地対策 | ○白河市中心部において、TMO（タウンマネジメント機関）の活動を支援し、魅力ある商店街の再生を進めるとともに、複合文化施設の整備等を促進し、快適で利便性の高い中心市街地の形成を図ります。 ○棚倉町等において、TMOの活動を支援し、魅力ある商店街の再生を進めるとともに、公園、街路の整備等を促進し、快適で利便性の高い中心市街地の形成を図ります。 ○矢吹町等において、土地区画整理事業を促進するなど、良好な市街地の形成を図ります。 |
| 広域連携 | ○21世紀FIT構想や阿武隈地域総合開発事業を推進し、広域交流圏の形成と定住基盤の整備を図ります。 |
| 水・エネルギー対策 | ○安定的な水の供給を確保するため、広域的な水資源の活用など、必要な対策について検討を進めます。 |



国道118号棚倉バイパス



あぶくま高原道路（福島空港・あぶくま南道路）



白河市情報センター



朝日に映える磐梯山



桐下駄づくり（会津高田町）



大俵引き（会津高田町）

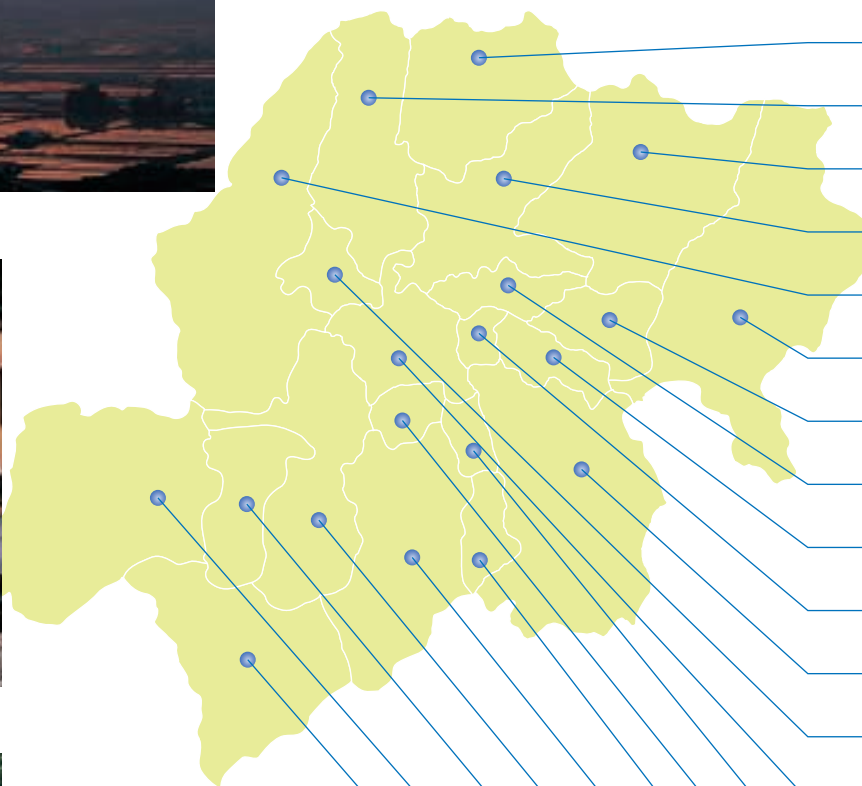


福満虚空蔵尊（柳津町）



鶴ヶ城（会津若松市）

会津地域



熱塩加納村

山都町

北塩原村

喜多方市

西会津町

猪苗代町

磐梯町

塩川町

河東町

湯川村

会津若松市

高郷村

会津坂下町

北会津村

新鶴村

会津本郷町

会津高田町

柳津町

三島町

金山町

昭和村

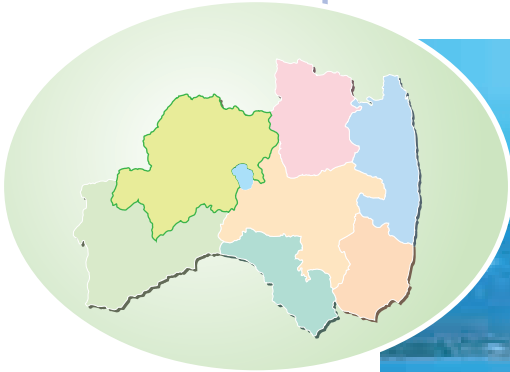


白鳥と猪苗代湖



美しい自然と高度先端技術が調和した
質の高い歴史文化交流圏

会津地域



裏磐梯

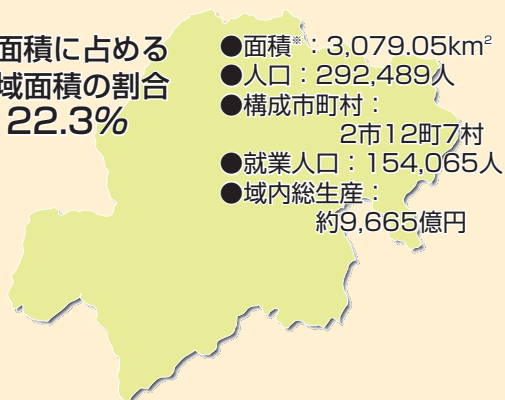
地域の現状・特性

- ◇ 会津地域は、全国に名高い歴史、文化を有し、磐梯山や猪苗代湖に代表される山岳、湖沼等の美しい自然に恵まれ、四季を通じて多くの観光客が訪れる本県の観光・リゾートの中心的地域であり、また、平野部は稲作を中心とした県内一の穀倉地帯を形成しています。
- ◇ 中山間地域、特に山間部においては、過疎化が進んでおり、県内においても人口の高齢化が先行している地域です。
- ◇ 会津大学はコンピュータ理工学分野に関する質の高い教育研究環境を備え、産学連携や生涯学習の拠点としての役割も果たしています。
- ◇ 磐越自動車道の全線開通など高速交通体系の整備により、県際交流さらには関西圏等との交流も活発になることが見込まれ、また、先端技術をはじめとする工業の集積や広域的な周遊観光、国際観光の推進による発展可能性が高まりつつあります。

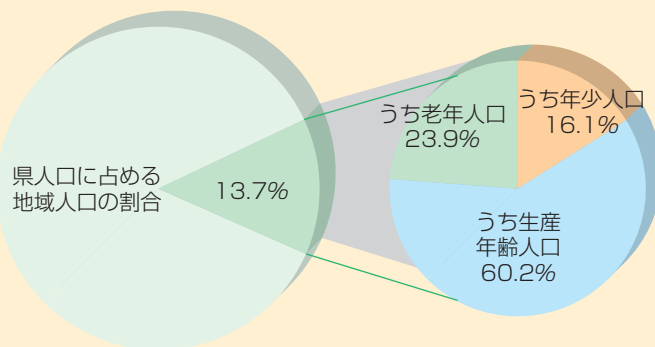
◇地域の概要

県面積に占める
地域面積の割合
22.3%

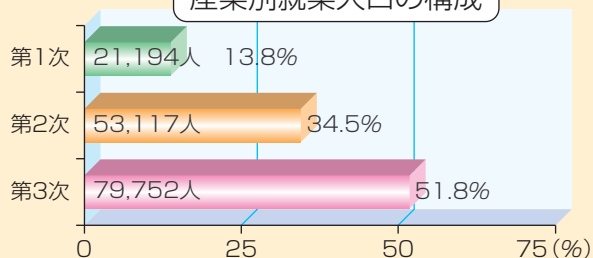
- 面積*: 3,079.05km²
- 人口: 292,489人
- 構成市町村:
2市12町7村
- 就業人口: 154,065人
- 域内総生産:
約9,665億円



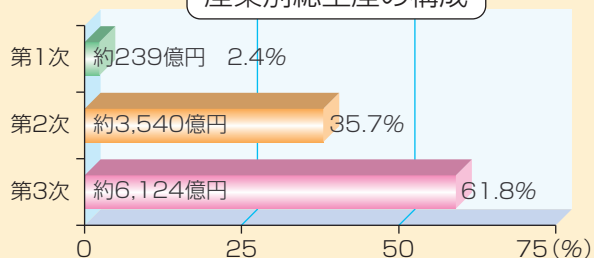
人口及び構成



産業別就業人口の構成



産業別総生産の構成



地 域 の 課 題

- ◇ 中山間地域を中心に過疎化、高齢化が急速に進行しているため、住民医療・福祉サービスの情報化の促進や就業、教育等の生活環境の整備が課題となっています。また、高速交通体系への交通アクセス機能の向上による新たな産業誘導、交流の拡大を通じた中山間地域の活性化が期待されています。
- ◇ 交流を拡大して地域の活性化を促すためには、豊かな観光資源や高速交通体系を生かし、広域的な周遊観光、国際観光や体験型観光等の多様化する観光ニーズに的確に対応するなどの取組みを進めることが求められています。
- ◇ 会津大学等との産学連携による研究環境の整備やベンチャー企業の育成により、高度技術産業、情報関連産業、研究開発機能等の集積促進が期待されています。
- ◇ 会津漆器や会津本郷焼など伝統的地場産業の振興や、農産物加工や都市との交流を含めた多様な農林業の振興が期待されています。
- ◇ 地域の核となる会津若松市及び喜多方市の総合的な都市機能の充実強化と、広域的な幹線交通網の整備による両市とその周辺町村とのアクセス機能の強化が求められています。



地域の将来像

美しい自然と高度先端技術が調和した質の高い歴史文化交流圏

磐梯山、猪苗代湖に代表される美しい自然の中で産学連携による高度先端技術の集積が進み、歴史や伝統文化を大切にする心と美しいまちが、さまざまな人びとの交流を彩る質の高い歴史文化交流圏の形成をめざします。

基本的発展方向

美しい自然と高度先端技術が調和した
質の高い歴史文化交流圏

多彩なふれあい・交流が
展開する地域の形成

魅力ある観光・リゾート地域の形成

産学連携による高度技術産業圏域の
形成と地場産業や活力ある農林業の展開

都市機能の充実と周辺町村との
連携による圏域の一体的な振興

多彩なふれあい・交流が展開する地域の形成

- ◇ 磐梯山、猪苗代湖に代表される美しい自然の保全と創造に努めます。
- ◇ 美しい自然や名高い歴史を生かして都市住民等との広域交流を進めます。
- ◇ 地域に根ざした歴史文化を生かした個性的な地域づくりを進めます。

魅力ある観光・リゾート地域の形成

- ◇ 新たな観光資源の発掘・創造や温泉などの地域資源を生かしたリゾート地域の整備を進めます。
- ◇ グリーン・ツーリズムなど、まざまな産業と連携した体験・滞在型観光の振興を図ります。
- ◇ 海外からの観光客の誘致や受入れ体制の整備など国際観光の振興を図ります。

産学連携による高度技術産業圏域の形成と 地場産業や活力ある農林業の展開

- ◇ 会津大学等を活用した産学連携により、高度技術産業や情報関連産業等のベンチャー企業の創出や既存産業の高度化を図ります。
- ◇ 漆器、陶器、酒造等の地場産業や活力ある農林業の振興を図ります。

都市機能の充実と周辺町村との連携による圏域の一体的な振興

- ◇ 地域の核となる会津若松市及び喜多方市の総合的な都市機能の充実強化を図ります。
- ◇ 地域産業の振興や生活環境の整備など定住基盤の整備を進めます。
- ◇ 磐越自動車道と接続する地域高規格道路や幹線交通網等の整備を進め、生活圏の一体的な振興を図ります。

主要な施策

※全県的な施策については第2編基本計画（66P～198P）を参照してください

人

学校教育

- 会津高校、会津女子高校、若松女子高校の男女共学化に伴う施設整備を図ります。
- 会津地区に学科転換による総合学科高校を開設します。
- 新しいタイプの定時制単位制高校を整備します。

社会教育

- 会津大学における生涯学習機会の拡充や施設の地域開放を図ります。

高等教育

- 会津大学における、社会人に対する講習会・公開講座等の内容の充実を図るとともに、企業からの研究者・技術者の受入れに努めます。
- 会津大学において、グローバルな情勢の変化に的確に対応した教育研究に取り組んでいくため、柔軟な組織体制で活動を展開していきます。



会津大学における
マルチメディアを活用した遠隔授業実験



化石の発掘（高郷村）

くらし

保健・医療・福祉

- 過疎地域など単独町村では保健福祉サービス提供体制の整備が困難な地域に対し、広域的対応への支援を行います。
- 県立会津総合病院と県立喜多方病院を統合し、高度な機能を有した新たな病院施設を整備します。

生活交通

- 磐越自動車道へのアクセス道路の整備を進めるとともに、国道400号杉峠などの冬期交通不能区間の解消に努めます。

| | |
|------------------|--|
| | <p>○冬期における円滑な交通及び歩行者空間を確保し、快適な住民生活を守るため、道路情報システムの整備や道路除雪・防雪施設、消融雪施設、流雪溝等の整備を進めます。</p> <p>○JR磐越西線、只見線及び会津線について、新幹線との接続ダイヤの改善など利用者の利便性の向上に努めます。</p> <p>○会津線について、沿線住民の足の確保や地域振興を図るため、沿線住民の利用動向等を総合的に勘案しながら関係自治体等との連携の下に支援を行います。</p> |
| アメニティ | <p>○会津地域における生活環境整備を促進するため、過疎町村の下水道整備を県が代行して進めます。</p> <p>○良好な住宅及び宅地の供給を図るため、住宅宅地関連公共施設整備促進事業を進めます。</p> |
| 文化・スポーツ・レクリエーション | <p>○県立博物館について、多様化する利用者の要望や学術研究の進展に対応するため、常設展示のリニューアルを図ります。</p> <p>○会津地域における多様なスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、会津レクリエーション公園の整備を図ります。</p> <p>○レクリエーション活動の場や各種スポーツ大会等の利用も可能な大川喜多方自転車道の整備を図ります。</p> |
| 防災 | <p>○治水機能の向上を図るため、阿賀川、田付川等の河川改修を進めるとともに、土砂災害を防止するため、大倉川の砂防事業等を進めます。</p> |



県立博物館



御田植祭（会津高田町）



JR只見線



産業

農林水産業

- 水稻直播等による稲作の省力・低コスト化や有機米生産等によるコメの高付加価値化を推進するとともに、野菜、果樹、花き等との組み合わせによる安定した複合経営の確立を図ります。
- 中山間地域においては、冷涼な気象条件等を生かした花き、きのこ等の生産や農産物加工による高付加価値化を推進するとともに、豊かな自然を生かした都市交流型の農業の展開を図ります。
- 薬用人参、会津身不知柿、高田梅などの地域特産品について、生産拡大を図ります。
- 会津地鶏、ふくしまかれん（りんどう）、夢の香（酒米）、会津ユキマスなどの新たな地域特産品の振興を図ります。
- 安定的に農業用水を確保するため、会津宮川地区国営かんがい排水事業の促進を図ります。
- 会津桐のブランドにふさわしい優良材を生産するため、病害に強い優良品種の開発及び保育管理の適正な推進を図ります。
- 大規模林道飯豊・桧枝岐線、米沢・下郷線の整備を促進します。

商工業

- 会津大学やハイテクプラザ等を活用した産学官連携により、地域産業の技術開発力の強化を支援します。
- 地場産業の振興を図るため、ハイテクプラザ会津若松技術支援センターを中心として、会津漆器産業などの後継者の育成・確保、新商品開発、販路開拓対策等を進めます。
- 会津高等技術専門校の学科再編等教育訓練内容の見直しや施設設備の充実に努めます。
- 磐越自動車道や会津大学等を活用し、知識集約型、研究開発型企业等の集積促進を図ります。
- 会津北部地域の雇用創出のため、会津喜多方中核工業団地（仮称）の整備を進めます。

観光・リゾート・交流型産業

- 外国人観光客が安心して観光を楽しめるよう、国際的な観光地にふさわしい受入れ体制や観光ルートの整備を進めます。
- 外国人観光客にアピールする魅力度の高い観光資源を生かし、栃木県、山形県及び宮城県と連携し「武家のロマン、日本のふるさと、自然と温泉との出会い」をテーマとした周遊観光ルート「あずま路」への誘客促進を図ります。
- 豊かな自然環境を保全しつつ、会津フレッシュリゾート構想等を推進し、質の高い魅力的な観光・リゾート地づくりを促進します。
- そば、からむし織りなど地域の特産や雪の積極的な利活用を通じた体験型交流を促進します。
- 会津ナンバーの新設について、地域の要望等を踏まえ、国に働きかけます。



会津漆器



稲刈りの風景



芦ノ牧温泉（会津若松市）

環 境

自然環境

- 猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境を保全するため、公共下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽の整備促進を図ります。
- 磐梯朝日国立公園裏磐梯地域とこれを囲む山岳地域において、自然環境の保全・修復と適正な利用・誘導を図るため、自然環境の調査や施設整備等を推進します。
- 平成13年夏に磐梯朝日国立公園裏磐梯地域において、人と自然との豊かなふれあいを推進するための全国的祭典である第43回自然公園大会を開催します。
- 磐梯朝日国立公園、大川羽鳥、只見柳津県立自然公園において、優れた自然環境や美しい自然景観を保全するとともに、自然に学び、自然とのふれあいを体験する場としての整備を進めます。
- 長瀬川や野尻川等において、魚や野鳥などの生物の生息環境や周辺の自然景観との調和に配慮した多自然型川づくりを進めます。
- 天然記念物「赤井谷地沼野植物群落」の保存を進めるとともに、自然観察、環境教育の場の整備を促進します。
- 県民が自然とふれあう拠点として、昭和の森の整備充実を図ります。

景観

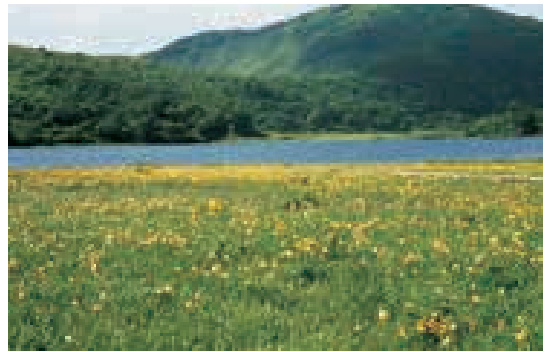
- 福島県景観条例に基づく景観形成重点地域である磐梯山・猪苗代湖周辺地域において、優れた自然景観に配慮した施設等の整備の誘導に努めるなど、きめ細かな景観づくりに取り組みます。



毘紗門沼（北塩原村）



飯豊山の登山（山都町）



雄国沼（北塩原村）

基盤

広域交通

- 磐越自動車道の4車線化を促進します。
- 高速道路へのアクセス性を高めるとともに、地域の開発振興に資するため、地域経済への波及効果等を見極めながら、追加インターチェンジの整備について検討を進めます。
- 磐越自動車道と一体となって、地域発展の核となる都市圏の育成や広域的な連携、交流を促進する会津縦貫北、会津縦貫南道路について、地域高規格道路として整備促進を図ります。
- 会津地域における交通ネットワークの要となる国道49号、115号、118号、121号、252号、294号、400号、401号、459号、主要地方道等の整備を進めます。

中山間地域対策

- 本県を代表する観光資源を活用するとともに、そば、からむし織りなど地域の特産品やひめさゆりなどの地域の花々、農林業を通した滞在型ふるさと交流体験など身近な地域資源を組み合わせ、観光会津の味わいを深める周遊型交流空間ゾーンの形成を図ります。
- 磐越自動車道や会津縦貫北・南道路等を活用し、新潟県や山形県との県際地域交流や首都圏、関西圏との交流を促進します。
- 磐梯山周辺の美しい自然景観や歴史的・文化的景観の積極的な保全、創造についての先進的取組みを地域づくりにも活用し、情報発信を進めます。
- 新「歳時記の郷・奥会津」活性化事業を支援し、只見川沿いの流域と尾瀬に続く「尾瀬街道」地域の自然と生活文化を守り育て、町村が連携して取り組む事業を促進し、個性的で魅力的な地域づくりを進めます。

| | |
|---------|---|
| | <p>○情報通信を活用した在宅健康管理システムの導入など本格的な高齢社会に向けた取組みを支援するとともに、会津大学の研究成果等を活用して情報通信技術のより一層の高度利用と汎用化を図り、誰もが安心して生活できる定住環境の整備を進めます。</p> |
| 中心市街地対策 | <p>○会津若松市において、TMO（タウンマネジメント機関）の活動を支援し、魅力ある商店街の再生を進めるとともに、優良建築物等整備事業、街路整備等を促進し、快適で利便性の高い中心市街地の形成を図ります。</p> <p>○喜多方市及び猪苗代町等において、TMOの活動を支援し、魅力ある商店街の再生を進めるとともに、公園、街路の整備等を促進し、快適で利便性の高い中心市街地の形成を図ります。</p> <p>○会津坂下町等において、土地区画整理事業を促進するなど、良好な市街地の形成を図ります。</p> |
| 広域連携 | <p>○広域的な連携を図りながら、あいづ地方拠点都市地域整備事業や会津フレッシュリゾート構想を進めます。</p> <p>○磐越自動車道を介して短時間で結ばれているいわき地域や新潟県と、地域資源を相互に活用した広域的な交流を促進します。</p> <p>○山形、新潟両県際地域において、歴史的なつながりや共通する地域特性を踏まえて連携強化を図り、豊かな自然や個性ある地域資源を生かしながら、首都圏等との広域交流を促進します。</p> <p>○新「歳時記の郷・奥会津」活性化事業を支援し、四季折々の美しい自然と伝統的文化、産業の継承・創造を図り、都市住民との交流等を通じ、ふるさとに対する愛着と誇りにあふれるゆとりと潤いのある圏域づくりを進めます。</p> |



からむし織り（昭和村）



磐梯山とそば畑（猪苗代町）



磐越自動車道



南会津地域



田島祇園祭（田島町）



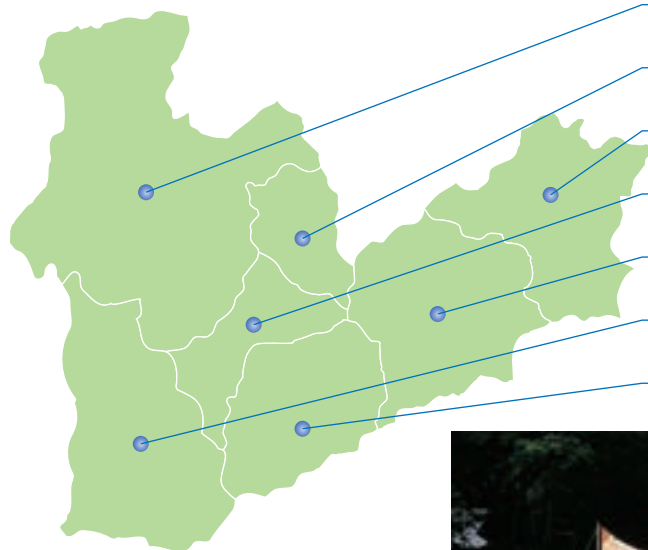
大内宿の半夏祭（下郷町）



前沢曲家集落（舘岩村）



檜枝岐歌舞伎（檜枝岐村）



只見町

南郷村

下郷町

伊南村

田島町

檜枝岐村

舘岩村



小豆温泉せせらぎオートキャンプ場(伊南村)



南郷スキー場（南郷村）

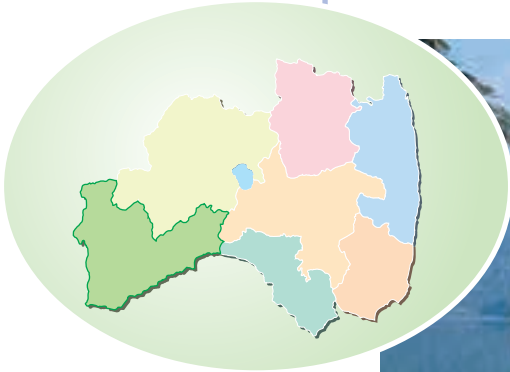


田子倉ダム（只見町）



豊かな自然と人々の暮らしが調和した
癒しの定住・交流圏

南会津地域



尾瀬

地域の現状・特性

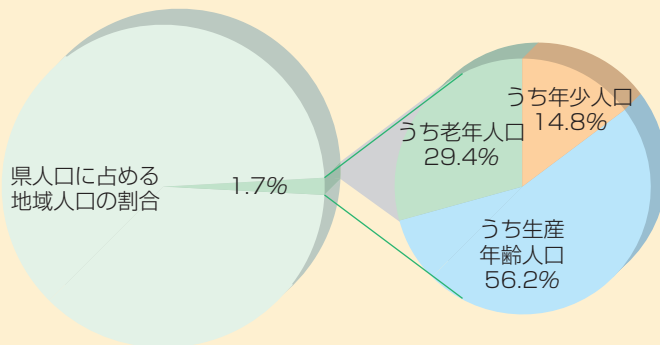
- ◇ 南会津地域は、関東、北陸、東北の接点に位置する源流域であり、風光明媚な自然景観と豊かな森林資源、水資源を有する自然の宝庫となっています。また、当地域は、只見地域電源開発により全国有数の電力供給地として、我が国の復興と高度経済成長を支えてきました。
- ◇ 本州最大の高層湿原である尾瀬を含む日光国立公園や越後三山只見国定公園、県立自然公園が地域面積の約2割を占めており、田島祇園祭や桜枝岐歌舞伎をはじめとした数多い伝統文化や奥会津の素朴な農村風景とともに、都市との交流の魅力となっています。
また、会津高原のスキー場群や厳しい自然の中で力強く咲く花々、野趣あふれる温泉など豊富な観光資源に恵まれ、首都圏と直結する会津鬼怒川線や整備が進む道路網などにより、首都圏からの観光客など多くの人が訪れています。
- ◇ 山間・豪雪という地理的・自然的条件や産業の集積が十分でないことにより、過疎化、高齢化が進行しています。
- ◇ 首都圏に隣接する地理的優位性や豊かな自然などの地域資源を活用した独自の取組みにより、新たな就業の場の確保に成果を上げている事例も見られ、こうした取組みを進めることにより、アウトドア志向など新たな時代のニーズをとらえた発展が期待されています。

◇地域の概要

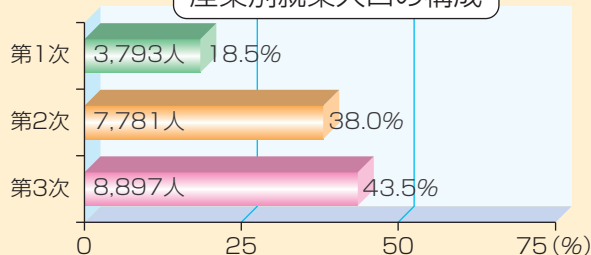
県面積に占める
地域面積の割合
17.0%

- 面積*: 2,341.64km²
- 人口: 35,396人
- 構成市町村: 3町4村
- 就業人口: 20,471人
- 域内総生産: 約1,271億円

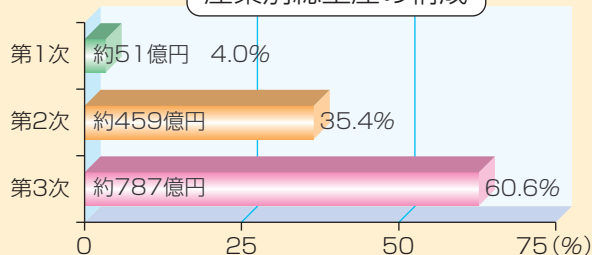
人口及び構成



産業別就業人口の構成



産業別総生産の構成



地 域 の 課 題

- ◇ 将来にわたる快適なくらしを支えるため、豊かな自然環境及び美しい自然景観を保全していくとともに、進行が速い高齢化への対応としても、誰もが住みやすい居住環境の整備を図ることが必要です。
また、雪に強い街並みの整備と冬期交通の確保を図る必要があります。
- ◇ 広大な圏域における医療・福祉機能の確保と、高齢者を中心としたきめ細かい福祉サービスの充実のため、病院と診療所との連携強化によるへき地医療の確保を図るなど、医療・福祉資源を効率的に活用した取組みが期待されています。
- ◇ 地域の将来を支える人材の養成のため、豊かな自然を活用したゆとりある教育環境を整えるとともに、個性的な伝統文化の継承、多様な生涯学習の機会提供を通じた、他地域や世代間の交流の促進を図る必要があります。
- ◇ 地域経済を支える既存産業の振興を図るとともに、地域資源を活用した観光リゾート地域を形成し、首都圏をはじめとする他地域との多面的な交流を展開していくことが期待されています。
- ◇ 会津軸と南部軸の結節点として、人・もの・情報の交流をさらに促進するため、会津線や会津鬼怒川線の活用を図るとともに、磐越自動車道と連結する地域高規格道路や東北自動車道・関越自動車道へアクセスする主要幹線道路及び会津鬼怒川線と西部地区を結ぶ幹線道路等の整備を図る必要があります。



地域の将来像

豊かな自然と人々のくらしが調和した癒しの定住・交流圏

尾瀬をはじめとする豊かな自然の中で培われてきた、ふるさとへの愛着と誇りに満ちた人々の潤いと活力あるくらしや風土色豊かな伝統文化、素朴な農村の佇まいが醸し出すふるさとの原風景が、ゆとりと安らぎを求める多様な交流を生み出し、そこから新たな定住への扉が開かれる癒しの定住・交流圏の形成をめざします。

基本的発展方向

豊かな自然と人々のくらしが調和した
癒しの定住・交流圏

快適で健やかに暮らせる生活環境づくり

新しい時代を築く多様な人・文化づくり

多様性と創造性に富んだ産業の形成

新たな連携・交流ネットワークの形成

快適で健やかに暮らせる生活環境づくり

- ◇ 最大の財産である豊かな自然環境の保全に努めます。
- ◇ 源流地域の特性を踏まえ生活排水対策を進め、公共用水域の水質保全に努めます。
- ◇ 快適な暮らしを支えるため、高齢者が暮らしやすい生活環境の整備や克雪・利雪対策を進めます。
- ◇ へき地医療体制の充実や高齢者を中心としたきめ細かい福祉サービスの充実を図ります。

新しい時代を築く多様な人・文化づくり

- ◇ ゆとりある教育環境の整備やさまざまな生涯学習機会の提供を通じて、地域の魅力を認識するための教育を進めます。
- ◇ 地域の貴重な伝統文化の継承と特色ある文化活動の促進に努めます。

多様性と創造性に富んだ産業の形成

- ◇ 豊かな自然環境と調和した農林業や地域の活力を生み出す商工業の振興を図ります。
- ◇ 自然環境への負荷の少ない自然共生型の産業の誘致やSOHOによる起業の促進、豊かな自然、伝統文化を生かしたグリーン・ツーリズム、広域観光の促進を図ります。

新たな連携・交流ネットワークの形成

- ◇ 広域連携・交流を促進するため、鉄道の利活用及び地域高規格道路や幹線交通網の整備を進めます。
- ◇ 多様で豊かな自然を最大限に生かした首都圏等との交流を進めます。



主要な施策

※全県的な施策については第2編基本計画（66P～198P）を参照してください

人

学校教育

- 地域の豊かな自然を生かし、野外活動や環境学習の充実を図ります。
- 高齢者等との交流による田島祇園祭など伝統文化の継承等の取組みを進めます。
- 都市部の児童生徒が豊かな自然の中での生活を体験する山村留学など、都市農村交流の取組みを支援します。

社会教育

- 児童生徒の減少によって遊休化している学校施設の活用を図ります。

高等教育

- 高等教育についての地域のニーズにこたえるため、会津大学の情報システムや公開講座等の活用を促進します。



山村大学での都市農村交流（田島町）



剣道合宿（伊南村）



宮中雅楽
「千年紀歴史文化を迎える交流事業」（田島町）

くらし

保健・医療・福祉

- 広域的な保健福祉サービス提供体制の整備について支援を行います。
- 訪問看護体制の充実やホームヘルパーの確保、ショートステイ、デイサービス体制の充実など、保健福祉サービス提供体制の整備充実を進めます。
- 県立南会津病院について、地域の中核的病院として、診療体制の充実を図ります。
- 南会津地方広域市町村圏組合地域医療支援センターの運営を支援します。

| | |
|------------------|---|
| | <p>○高規格救急車の配備促進や救急患者に対する搬送途上での救急救命措置を支援する体制の整備など、救急医療体制の整備充実を進めます。</p> <p>○より身近な施設福祉サービスを提供するため、身体障害者療護施設の整備を促進します。</p> |
| 生活交通 | <p>○地域内における円滑な交通を確保するため、交通不能区間や冬期交通不能区間、危険箇所の解消に努めます。</p> <p>○冬期における円滑な交通及び歩行者空間を確保し、快適な住民生活を守るため、道路情報システムの整備や道路除雪・防雪施設、消融雪施設、流雪溝等の整備を進めます。</p> <p>○JR只見線について、ダイヤ改正など利用者の利便性の向上に努めます。</p> <p>○会津線、会津鬼怒川線について、沿線住民の足の確保や地域振興を図るため、沿線住民の利用動向等を総合的に勘案しながら関係自治体等との連携の下に支援を行います。</p> |
| アメニティ | <p>○南会津地域における生活環境整備を促進するため、過疎町村の下水道整備を県が代行して進めます。</p> <p>○バリアフリー住宅や克雪住宅の普及促進を図ります。</p> |
| 文化・スポーツ・レクリエーション | <p>○田島祇園祭、檜枝岐歌舞伎などの伝統文化の保護、継承など地域の文化活動を支援します。</p> <p>○南会津地域における多様なスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、南会津広域公園（仮称）の整備を検討します。</p> <p>○首都圏との近接性や豊かな自然を生かし、多様なスポーツ交流を促進します。</p> |
| 防災 | <p>○治水機能の向上を図るため、阿賀川、伊南川等の河川改修を進めるとともに、雪崩や土砂災害を未然に防止するため、砂防事業等を進めます。</p> |



県立南会津病院



会津鉄道湯野上温泉駅（下郷町）



会津たじま歩くスキー大会（田島町）



産業

農林水産業

- 夏季冷涼な気象条件を生かし、トマトやりんどうなどの園芸作物産地の形成強化とグリーン・ツーリズムと連動した都市交流型の農業の展開を図ります。
- 直売所や道の駅などを生かした農産物等の販路拡大を図るとともに、付加価値の高い地場産品の開発を促進します。
- 会津地鶏、ふくしまかれん（りんどう）、夢の香（酒米）、そば、赤カブなど魅力ある地域特産品やナメコ、ゼンマイ等の特産林産物の振興を図ります。
- 大規模林道飯豊・桧枝岐線、米沢・下郷線の整備を促進します。

商工業

- 首都圏と直結した豊かな自然の中で生活できる地域であることを積極的にPRし、SOHOなど新たな就業形態による起業を促進します。

観光・リゾート・交流型産業

- 首都圏と直結する会津鬼怒川線を生かし、スキー場や温泉などの拠点施設の連携等による多彩な観光メニューの提供を通じ、グリーン・ツーリズムなど、体験・滞在型観光の振興を図ります。
- 総合的な観光・リゾート情報提供の核となる会津高原観光情報センターの機能充実を促進します。
- 豊かな自然や伝統文化等の地域資源を生かした都市農村交流を通じ、観光と連携した農林業の振興など、交流型産業と多様な就業機会の創出を促進します。
- 雪室の活用や冷熱エネルギーの利用研究、雪祭り等のイベントの開催など、雪の利活用を促進します。



グリーン・ツーリズムによる
都市農村交流（館岩村）



南郷トマト（南郷村）



只見雪まつり（只見町）

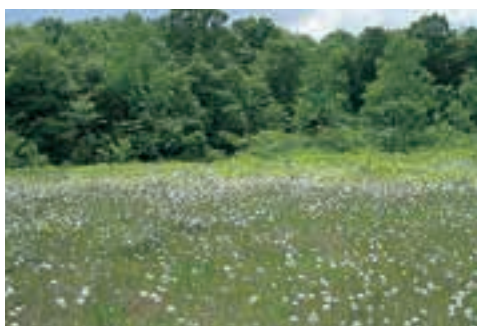
環境

自然環境

- 尾瀬地域の自然環境を保全するため、植生復元、木道整備、交通規制等の施策を関係機関との連携の下に推進します。
- 本県と群馬、新潟3県により設立した（財）尾瀬保護財団を中心として、尾瀬地域の一体的な保護と適正利用を推進します。
- 日光国立公園、越後三山只見国定公園、只見柳津、大川羽鳥県立自然公園において、優れた自然環境や美しい自然景観を保全するとともに、自然に学び、自然とのふれあいを体験する場としての整備を進めます。
- 伊南川や高野川等において、魚や野鳥などの生息環境や周辺の自然景観との調和に配慮した多自然型川づくりを進めます。
- 阿賀川等を交流の軸とした流域連携により地域づくり団体等が行う源流地域の自然環境保全に向けた取組みを支援します。



伊南川のあゆ釣り（伊南村）



駒止湿原（田島町）

「緑多き福島…」 渡部万里 さん
(南郷村立南郷中学校)

高清水自然公園のヒメサユリ群生地(南郷村)

基盤

広域交通

- 磐越自動車道と一体となって、広域的な連携、交流を促進する会津縦貫南道路について、地域高規格道路として整備促進を図るとともに、栃木西部・会津南道路の整備について検討を進めます。
- 南部軸の形成を図るため、国道289号甲子峠、八十里越の整備を進めます。
- 国道252号六十里越等の冬期交通不能区間の解消を図ります。
- 南会津地域における交通ネットワークの要となる国道118号、121号、252号、289号、352号、400号、401号等の整備を進めます。



中山間地域対策

- 冬期間の交通の確保や除排雪などにより日常生活の確保を図るとともに、雪の積極的な利活用による都市住民との交流促進を図ります。
- 新「歳時記の郷・奥会津」活性化事業を支援し、只見川沿いの流域と尾瀬に続く「尾瀬街道」地域の自然と生活文化を守り育て、町村が連携して取り組む事業を促進し、個性的で魅力的な地域づくりを進めます。
- 尾瀬に代表される手つかずの貴重な自然、田島祇園祭や松枝岐歌舞伎等の伝統文化などの地域資源を保全し、次世代に継承する取組みを通じた地域づくりを進めます。
- 首都圏から会津地方への玄関口となる立地条件の優位性や尾瀬、スキー場等のさまざまな地域資源を最大限に活用したグリーン・ツーリズム等による首都圏等との交流拡大を促進するとともに、自然環境の保全をテーマとした新潟県、群馬県との3県の交流、連携を進めます。
- 高齢社会の先駆けとして、地域内の有機的な連携の下、情報通信の保健・医療・福祉分野への応用を図りながら、誰もが住みやすい居住環境の整備を進めます。
- 首都圏と直結した豊かな自然の中で生活できる地域であることを積極的にPRし、SOHOなど新たな就業形態による起業を促進し、定住促進や地域の活性化を図ります。

広域連携

- 会津地域から日光・那須に至る国際的なリゾートゾーンの形成をめざす21世紀FIT構想を推進します。
- 新「歳時記の郷・奥会津」活性化事業を支援し、四季折々の美しい自然と伝統的文化、産業の継承・創造を図り、都市住民との交流等を通じ、ふるさとに対する愛着と誇りにあふれるゆとりと潤いのある圏域づくりを進めます。
- 広域的な連携を図りながら、あいづ地方拠点都市地域整備事業や会津フレッシュリゾート構想を進めます。



国道289号甲子峠整備



道路除雪風景



川のものしり館（只見町）

相 双 地 域



相馬野馬追



火の祭り（小高町）



高塚高原(阿武隈高原中部県立自然公園)



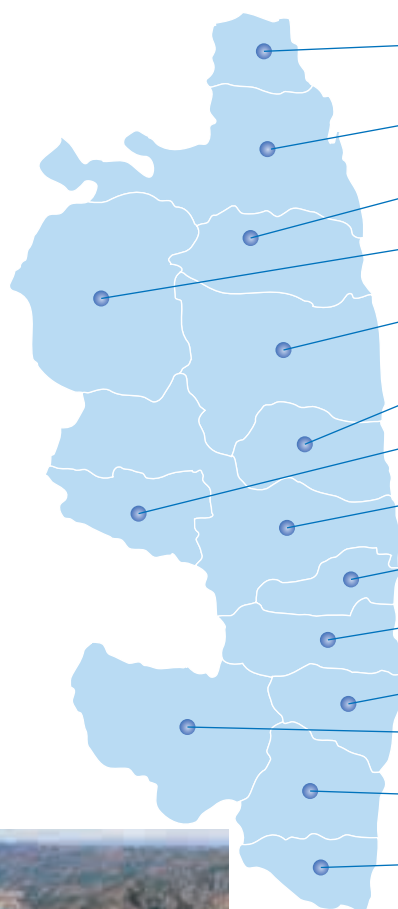
請戸川の鮭漁（浪江町）



はやま湖周辺（鹿島町・飯舘村）



夜の森の桜並木（富岡町）



新地町

相馬市

鹿島町

飯舘村

原町市

小高町

葛尾村

浪江町

双葉町

大熊町

富岡町

川内村

楡葉町

広野町



双葉海浜公園（双葉町）

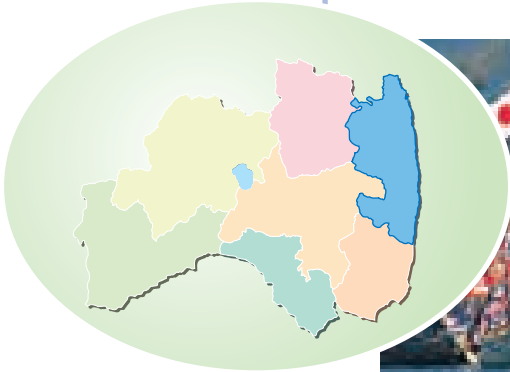


Jヴィレッジ（楡葉町・広野町）



輝く自然と特色ある産業が調和した
ゆとりのある快適交流圏

相 双 地 域



請戸漁港の出初式

地域の現状・特性

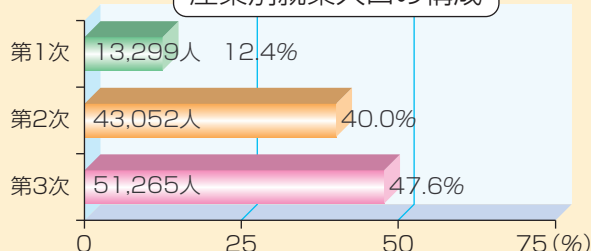
- ◇ 相双地域は、紺碧に輝く太平洋の海原や緑輝く阿武隈の山並みなど多様で豊かな自然に恵まれ、また、相馬野馬追に代表される個性ある伝統文化を有しています。
- ◇ 沿岸部は、原子力発電所、火力発電所が立地する全国有数の電力供給地帯となっています。
- ◇ 生活圏全体に求心力を及ぼす大都市がなく、東西30km、南北80kmの細長い圏域となっていることもあって、分散型の地域構造となっています。
- ◇ 北部地域においては、常磐自動車道の延伸や重要港湾相馬港の整備進展に伴い、産業の集積や交流機能の向上など発展可能性が高まりつつあり、さらには、東北中央自動車道の整備による北部軸の形成が期待されています。
- ◇ 南部地域は、常磐自動車道の整備進展により高速交通エリアに入りつつあり、温暖な気候やJヴィレッジなどの地域資源を生かした首都圏等との多様な交流の飛躍的な拡大が見込まれています。

◇地域の概要

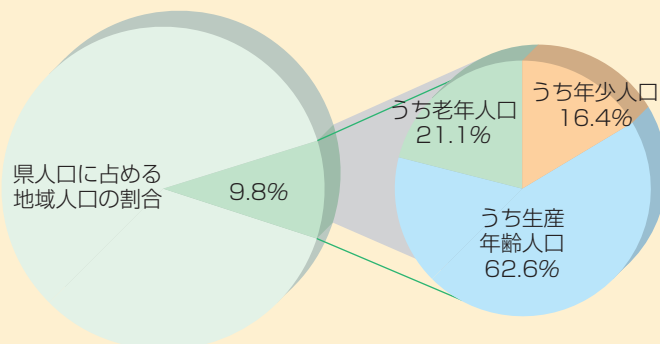
県面積に占める
地域面積の割合
12.6%

- 面積：1,737.71km²
- 人口：209,490人
- 構成市町村：
2市9町3村
- 就業人口：107,616人
- 域内総生産：
約1兆2,275億円

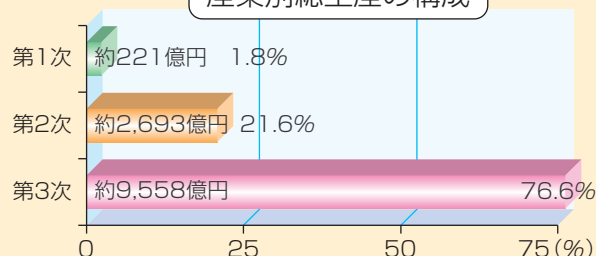
産業別就業人口の構成



人口及び構成



産業別総生産の構成



地 域 の 課 題

- ◇ 地域における人材育成の強化と地域活力の向上のため、全国有数の電源立地の特性を生かした研究開発機能等の誘導促進が期待されています。
- ◇ 地域医療の確保を図るため、中核医療機関の整備や、医療機関相互の機能分担と連携による総合的な地域医療体制の充実強化が求められています。
- ◇ 相馬地域開発等による産業の集積と高度化の促進や温暖な気候を生かした農業、つくり育てる漁業の振興、電源立地等の特性を生かした新たな産業の創出が期待されています。
- ◇ 常磐自動車道の整備進展により、海洋や森林等の豊かな自然、優れた伝統文化などの地域資源を結び付けた広域観光の振興が期待されています。
- ◇ 常磐自動車道や東北中央自動車道の整備を促進するとともに、インターチェンジと主要幹線を結ぶアクセス道路の整備や沿岸地域を縦貫する道路、中通り地方との連携を強化する東西方向の道路の整備を図る必要があります。
- ◇ 地域の核となる原町市、相馬市における総合的な都市機能の充実強化や準生活圏における基礎的な都市機能の整備を進め、圏域全体の連携強化による利便性の向上を図るとともに、定住環境の整備や地域産業の振興を通じた中山間地域の活性化により、バランスのとれた生活圏づくりが求められています。
- ◇ 全国有数の電源地域としての貢献にふさわしい恒久的な地域振興を図る必要があります。



地域の将来像

輝く自然と特色ある産業が調和したゆとりのある快適交流圏

高まる交流機能と魅力ある地域資源を生かし、地域内外との緊密な連携と多面的な交流を図りながら、太平洋から阿武隈高地に至る輝く自然との共生の中で、ゆとりのあるくらしと特色ある産業が調和した快適交流圏の形成をめざします。

基本的発展方向

輝く自然と特色ある産業が調和した
ゆとりのある快適交流圏

人を育みくらしにうるおいのある
地域社会の形成

環境と調和した活力ある産業の形成

くらしや交流を支える社会基盤の形成

広域ネットワーク型生活圏の形成

人を育みくらしにうるおいのある地域社会の形成

- ◇ 電源地域の特性を生かした研究開発機能等の誘導促進を図ります。
- ◇ 安心して健やかな生活が送れるよう、保健・医療・福祉サービスの充実を図ります。
- ◇ 安全で潤いのある生活が送れるよう、環境保全の取組みの強化を図ります。

環境と調和した活力ある産業の形成

- ◇ 整備が進む常磐自動車道や相馬港などの交通・輸送基盤を生かした産業の集積と高度化を促進します。
- ◇ 温暖な気候を生かした農業の振興や良好な漁場を生かした水産業の振興を図るとともに、電源立地地域の特性を生かした新たな産業の創出促進を図ります。
- ◇ 常磐自動車道や多彩な地域資源を生かした広域観光の振興やグリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズムの促進を図ります。

くらしや交流を支える社会基盤の形成

- ◇ 常磐自動車道や東北中央自動車道の整備を促進します。
- ◇ 地域内外を有機的に結ぶ幹線交通網等や相馬港の整備を図ります。
- ◇ 原子力安全対策を含む地域防災体制や生活環境基盤の整備を図ります。

広域ネットワーク型生活圏の形成

- ◇ 地域の核となる原町市、相馬市における総合的な都市機能の充実強化や準生活圏における基礎的な都市機能の整備を進めるとともに、阿武隈山間地域の定住環境の整備を図ります。
- ◇ 圏域内の相互連携や機能分担によるバランスのとれた生活圏づくりを進めます。
- ◇ 分散型の地域構造を踏まえ、宮城県や隣接の生活圏との多様な交流、連携を図りながら、広域的、重層的なネットワーク型生活圏の形成をめざします。



主 要 な 施 策

※全県的な施策については第2編基本計画（66P～198P）を参照してください

人

| | |
|------|---|
| 学校教育 | ○相馬高校、相馬女子高校の男女共学化に伴う施設整備を図ります。 ○相馬地区に学科転換による総合学科高校を開設します。 |
| 社会教育 | ○陶芸や甲冑づくりなど地域の伝統的な工芸や文化を担う人材の確保を支援します。 ○浜高等技術専門校や高等学校などにおける生涯学習機会の拡充を図ります。 |
| 高等教育 | ○高等教育機関の開設等に向けた地域の主体的な取組みを支援します。 |



相馬駒焼（相馬市）



学校開放講座（相馬農業高校）

く ら し

| | |
|----------|--|
| 保健・医療・福祉 | ○過疎地域など単独町村では保健福祉サービス提供体制の整備が困難な地域に対し、広域的対応への支援を行います。 ○双葉地方の医療サービスの充実を図るため、県立大野病院の移転改築を行います。 ○より身近な施設福祉サービスを提供するため、身体障害者療護施設の整備を促進します。 |
| 生活交通 | ○国道399号など阿武隈山間地域の主要な生活道路等の整備を進めます。 ○首都圏や仙台市への重要なアクセス手段であるとともに、地域の主要な輸送手段であるJR常磐線の複線化、スピードアップなど、利用者の利便性の向上に努めます。 |

| | |
|------------------|---|
| アメニティ | ○はやま湖周辺地区において、地域が行う親水機能や森林とのふれあい機能を有する場の整備を支援します。 |
| 文化・スポーツ・レクリエーション | ○相馬野馬追や相馬民謡など地域に根ざした文化等の保護・継承の取組みを支援します。 ○相双地域における多様なレクリエーション活動の拠点として、地域の伝統文化と調和した東ヶ丘公園の整備を図ります。 ○Jヴィレッジなどスポーツ施設の集積を生かし、スポーツ交流の拠点地域の形成を促進します。 |
| 防災 | ○治水機能の向上を図るため、宇多川、新田川等の河川改修等を進めます。 ○請戸海岸、木崎海岸等において、海岸環境に配慮しながら海岸保全施設の整備を図ります。 ○防災拠点港である相馬港、請戸漁港において、耐震強化岸壁等の整備を進めます。 ○原子力防災対策の強化を図るため、情報提供体制の充実や緊急時医療体制の整備充実に努めるとともに、緊急時においては、オフサイトセンターを拠点として関係機関が一体となった対策を行います。 |
| 安全確保 | ○安全確保協定に基づいて原子力発電所への立ち入り調査や適切な措置の要求等を行い、地域住民の安全確保を図ります。 ○原子力発電所周辺地域においてテレメータシステムによる環境放射線の常時監視を行うとともに、測定データを地域住民に公開します。 |



県立大野病院完成予想図



東ヶ丘公園（原町市）



原子力発電所立ち入り調査



産 業

農林水産業

- 大型共同乾燥調製（貯蔵）施設を核とした生産流通体制の整備などにより、稲作の効率化、低コスト化を図るとともに、温暖多日照の気象条件を生かした周年型施設園芸産地の育成に努めます。
- 阿武隈山間地域においては、畜産を中心に、高冷野菜、花き、きのこ等による複合経営の確立を図ります。
- 安定的に農業用水を確保するため、富岡地区や相馬第二地区の県営かんがい排水事業を推進します。
- 広域営農団地農道（相馬地区）の整備を図ります。
- 水産資源の持続的利用を図るため、資源管理型漁業や栽培漁業振興施設を核としたつくり育てる漁業を進めます。
- 漁業経営の安定を図るため、水産物の加工による高付加価値化などを進めるとともに、漁業協同組合の再編整備を支援します。
- 漁業後継者に対する支援や女性、高齢者の就労機会の拡大のための就労環境の改善を促進します。
- 松川浦、請戸等の漁港整備を進めるとともに、沿岸漁場の整備促進や水産物流通拠点整備の支援を検討します。

商工業

- 相馬中核工業団地等への企業誘致を促進し、高次生産機能の集積を進めるとともに、雇用機会の創出を図ります。
- 人材の育成や地域産業の高度化を図るため、電源地域の特性を生かした試験研究機関等の誘導促進を支援します。
- 相馬港について、3号ふ頭の整備等を進めるとともに、ポートセールス活動の積極的な展開を図ります。

観光・リゾート・交流型産業

- 多様な地域資源を活用し、道の駅や物産館、保養施設など広域観光拠点の整備を促進します。
- Jヴィレッジを核に交流拠点施設等を有機的に連携させた広域観光やグリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズムの定着拡大を促進します。
- 常磐自動車道原町インターチェンジ（仮称）～相馬インターチェンジ（仮称）間へのサービスエリアの設置促進に努めるとともに、サービスエリアを活用した交流施設整備を支援します。



施設園芸【トマト栽培】（新地町）



ヒラメ栽培漁業振興施設（大熊町）



相馬中核工業団地（相馬市・新地町）



道の駅Jヴィレッジ湯遊ならは完成予想図（檜葉町）

環 境

生活環境

○下水道の普及に伴い増大する下水汚泥を減量化するための広域的処理施設の整備を促進します。

自然環境

○霊山、松川浦、阿武隈高原中部県立自然公園において、優れた自然環境や美しい自然景観を保全するとともに、自然に学び、自然とのふれあいを体験する場としての整備を進めます。

○新田川や木戸川等において、魚や野鳥などの生物の生息環境や周辺の自然景観との調和に配慮した多自然型川づくりを進めます。

○「循環の理念」に基づき森・川・海を一体的にとらえ、植林など地域づくり団体等が行う自然環境保全に向けた取組みを支援します。



朝焼けの松川浦（松川浦県立自然公園）



森林ボランティア（浪江町）



基 盤

広域交通

- 常磐自動車道の早期全線供用を促進します。
- 東北中央自動車道について、阿武隈東道路が早期に整備されるよう促進するとともに、残る区間についての早期事業化に努めます。
- 常磐自動車道の延伸を踏まえ、その波及効果を高めるため、インターチェンジへのアクセス道路の整備を進めます。
- 国道6号相馬バイパスの整備を促進します。
- 福島空港アクセス道路として常磐自動車道と磐越自動車道を連絡し、福島空港・あぶくま南道路（あぶくま高原道路）に接続する定時性が確保できる道路について整備を進めます。
- 中通り地方との交流等を進めるため、国道6号、113号、114号、115号、288号、399号、459号、主要地方道等の整備を進めます。
- 相馬港において、3号ふ頭の整備などコンテナ貨物等の取扱いに対応した港湾機能の整備を進めます。

中山間地域対策

- Jヴィレッジを核に交流拠点施設等を有機的に連携させた広域観光やグリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズムの定着拡大を促進します。
- 冬期の積雪が少なく日照が多い気候を生かした施設園芸の振興や農林水産業と観光を組み合わせた相乗的な産業振興を図ります。
- 高度情報通信ネットワークの保健・医療・福祉分野や教育分野等への活用事例をモデルとして、地域コミュニティの機能向上や域外との積極的な交流を促進します。
- テレビ、ラジオの難視聴地域において、共同受信施設の整備を促進します。

中心市街地対策

- 原町市等において、TMO（タウンマネジメント機関）の活動を支援し、魅力ある商店街の再生を進めるとともに、原町駅前周辺地区の土地区画整理事業、複合商業施設整備等を促進し、快適で利便性の高い中心市街地の形成を図ります。
- 鹿島町等において、土地区画整理事業を促進するなど、良好な市街地の形成を図ります。

電源地域振興

- 電源地域の自立的、恒久的な振興を図るため、電源立地関係の各種交付金の計画的、効率的な活用等により、企業導入や産業の近代化、雇用拡大、福祉対策の充実など、総合的な地域振興対策を推進します。

広域連携

- 阿武隈地域総合開発事業を推進し、道路網や上下水道施設など生活基盤の整備を進めるとともに、常磐自動車道の延伸のインパクトを活用し、地域資源を生かした都市農村交流の促進を図ります。
- 南東北中枢広域都市圏構想において、原町市、相馬市を中心とする地域については、相馬地域開発による産業集積や魅力ある海洋性リゾート・レクリエーション機能を担う魅力ある拠点として整備を進めます。

水・エネルギー対策

○ふくしま沿岸域総合利用構想を推進し、いわき地域との連携を図りながら、整備が進む常磐自動車道や多様な地域資源を生かした魅力ある地域づくりを進めます。

○双葉地方における安定的な水の供給を確保するため、木戸ダム of 早期完成を図ります。

○安定的な水の供給を確保するため、広域的な水資源の活用 of 検討や新田川ダムの調査など、必要な対策を進めます。

○森林の水資源かん養機能 of 維持・増進に努めます。

○原子力発電所、火力発電所 of 立地の調整については、地域の理解と協力を得ながら、安全性 of 確保と環境保全等に十分配慮して取り組みます。



常磐自動車道広野インターチェンジ周辺



重要港湾相馬港



テレビ電話による遠隔診療（葛尾村）



いわき地域



いわき小名浜ミュウ花火大会



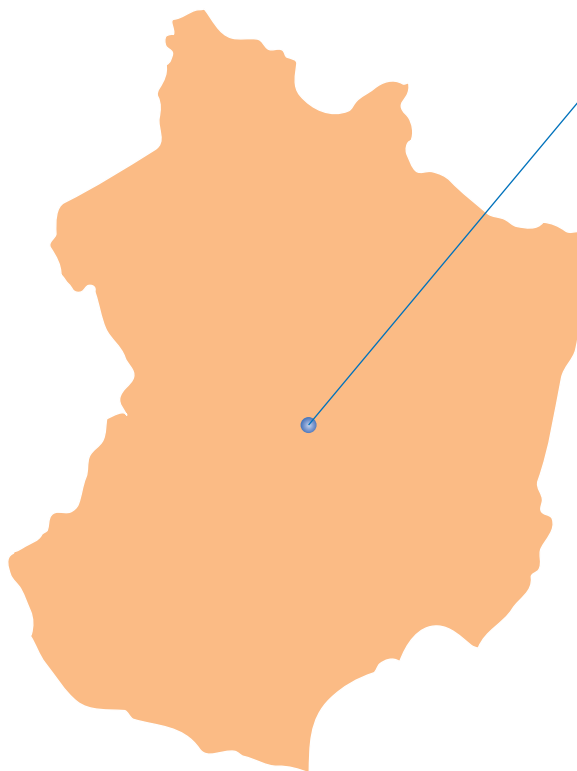
白水阿弥陀堂



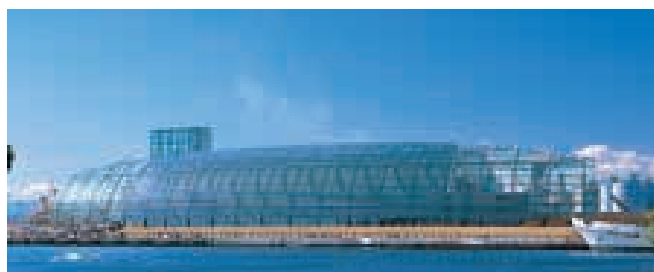
アンモナイト化石



夏井川溪谷



いわき市



アクアマリンふくしま



いわきおどり

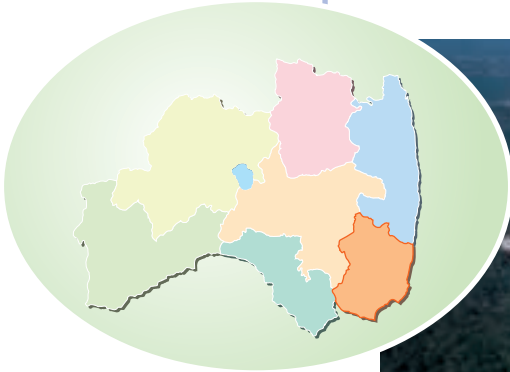


勿来の関跡



多彩な自然と快適な暮らし、
活力ある産業が調和した海洋文化交流圏

いわき地域



塩屋埼灯台といわきの海

地域の現状・特性

- ◇ いわき地域は、新産業都市の指定を契機として、昭和41年に5市4町5村が合併して誕生した日本最大の広域都市いわき市1市により構成されています。
- ◇ 南北60kmにおよぶ海岸線は、古来より「いわき七浜」と呼ばれ、その海域は潮目の海として絶好の漁場となっており、東北でも屈指の水揚げ量を誇っています。
- ◇ 明治から昭和にかけての石炭産業の隆盛により現在の発展の基礎が築かれ、その後、新産業都市の指定により産業基盤の整備が進められ、バランスのとれた高い工業集積を有する、南東北の工業拠点地域としての役割を担っています。
- ◇ 当地域は、浜通り地方の南部に位置し、南は首都圏と隣接しており、地域面積の約7割を占める林野が西方に緩やかに連なり、平坦部に都市が分散した多核型の地域構造となっています。
なお、都市部が低平地にあることから、河川災害を受けやすい状況も見られます。
- ◇ きらめく太平洋や、豊かな森林と中小河川がつくる渓谷美、さらには国宝「白水阿弥陀堂」など、多彩な自然と歴史・文化を有するとともに、温暖で寒暖の差が小さく、年間日照時間が長いなど、東北地方の中では際立って快適な気象条件を有しています。
- ◇ 国際物流港として機能高度化が進む重要港湾小名浜港や常磐・磐越自動車道の整備進展により、広域で多様な連携・交流ネットワークの要衝として、暮らし、しごと、文化・レジャーなど多面的な魅力のある地域の形成に向けた発展の可能性が一層高まりつつあります。
- ◇ また、いわき市は平成11年4月から中核市に移行し、地方分権の時代にふさわしい地域づくりが、力強く進められることが期待されています。

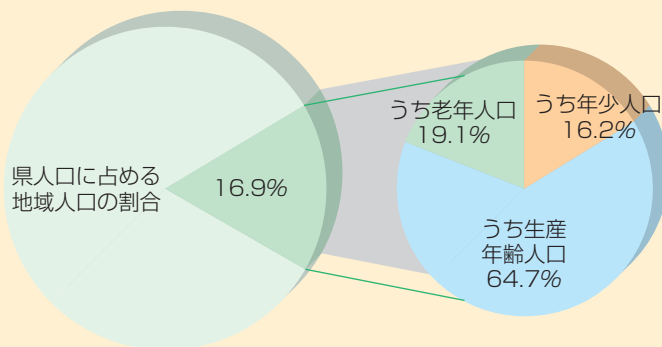
◇地域の概要

県面積に占める
地域面積の割合
8.9%

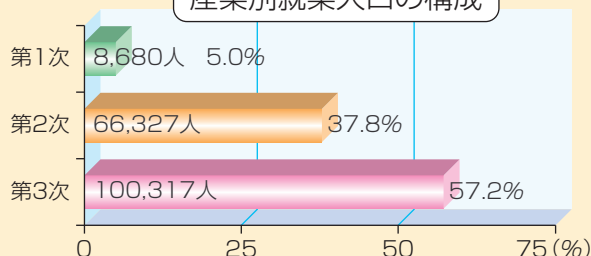
- 面積：1,231.13km²
- 人口：361,381人
- 構成市町村：1市
- 就業人口：175,324人
- 域内総生産：約1兆2,566億円



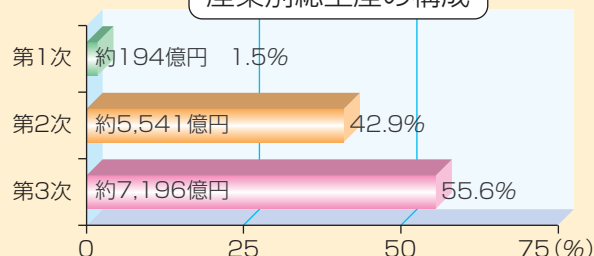
人口及び構成



産業別就業人口の構成



産業別総生産の構成



地 域 の 課 題

- ◇ 東京圏、仙台地方中枢都市圏を結ぶ浜通り軸と横断道軸・南部軸の結節点上の位置と、小名浜港を有する優位性を生かし、東日本沿岸部における中核都市圏としての役割を担っていくため、高次都市機能の集積の促進や広域交通体系の一層の整備による県内外、海外との連携強化を図っていくことが期待されています。
- ◇ 高い工業集積や高等教育機関等を生かして創造的で活力ある産業の展開を促進するとともに、国際的な物流業務拠点の形成のため、小名浜港の一層の機能高度化に加え、物流効率化に向けた交通体系や高度な物流機能の整備充実などが期待されています。
- ◇ 広域都市いわきのそれぞれの地区が有する固有の歴史や自然、文化などを生かした個性ある地域づくりを進めるとともに、それぞれの個性的な機能の連携強化を図ることにより、全体として周辺地域に対する求心力のある都市づくりを進めることが期待されています。
- ◇ 森、川、海の多彩で豊かな自然、温暖な気候、恵まれた観光資源、整備が進む交通体系などの地域特性や特色ある交流拠点を生かした広域観光ルートの形成、海洋リゾート機能等の集積を図るなど、個性ある多様な余暇活動空間づくりが期待されています。



地域の将来像

多彩な自然と快適な暮らし、 活力ある産業が調和した海洋文化交流圏

整備が進む高速交通体系や小名浜港、ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）などの特色ある拠点施設等を生かした地域内外の連携と交流を深めるとともに、東日本沿岸部における中核都市圏にふさわしい高次な都市機能の集積を図りながら、森、川、海が創り出す多彩で豊かな自然の中で、ゆとりと潤いのある快適な暮らし、活力ある産業が調和した海洋文化交流圏の形成をめざします。

基本的発展方向

多彩な自然と快適な暮らし、
活力ある
産業が調和した海洋文化交流圏

高次都市機能の集積による
中核都市圏の形成

豊かな自然環境と調和した
多彩で魅力ある生活圏の形成

活力ある高度な産業構造の形成

多様な地域資源を生かした
広域交流圏の形成

高次都市機能の集積による中核都市圏の形成

- ◇ 小名浜港や常磐・磐越自動車道など広域ネットワーク機能の整備充実を進め、国際的な物流業務拠点の形成をめざします。
- ◇ 地理的優位性を生かし、業務機能、研究開発機能、コンベンション機能など、高次な都市機能の集積を促進し、求心力のある中核都市圏の形成をめざします。

豊かな自然環境と調和した多彩で魅力ある生活圏の形成

- ◇ 多核分散型の地域構造を生かし、それぞれの核の特色ある機能の強化と連携により、多彩で魅力にあふれる生活圏づくりを進めます。
- ◇ 地域内の連携・交流や日常生活を支える幹線交通網等の整備を進めます。
- ◇ 快適で潤いのある環境共生型の生活文化を創造・提案できる地域づくりを進めます。

活力ある高度な産業構造の形成

- ◇ 高速交通体系や地理的優位性、バランスのとれた高い工業集積を生かして、付加価値の高い産業の誘導を進め、地域産業の技術の高度化、新たな産業の創出を促進します。
- ◇ 温暖な気候や標高差を生かした特色ある農業の振興を図るとともに、多面的機能を高度に発揮できる森林の育成と活力ある林業・木材産業の確立を図ります。
- ◇ 豊かで魅力ある水産業の振興を図るため、沿岸漁業資源の有効活用、沖合・遠洋漁業の経営改善及び水産加工業の高度化を促進します。
- ◇ 多核分散型の地域構造の中で、それぞれの核の商業機能の活性化を図るため、まちづくりと連携した取組みを進めます。

多様な地域資源を生かした広域交流圏の形成

- ◇ 美しい海岸景観の保全を図るとともに、港湾、漁港の親水交流機能の整備充実を進め、相双地域や茨城県北部と連携した広域的な観光ルートの整備や海洋リゾート機能等の集積促進を図ります。
- ◇ 中山間地域において、豊かな自然環境の保全や、生活・生産基盤の整備など、定住や交流のための条件整備を進め、潤いと活力のある地域づくりを進めます。
- ◇ 森、川、海の多彩な自然や特色ある拠点施設、首都圏に隣接する優位性を生かし、グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズムの促進や広域観光の振興など、多様で活発な交流が進む多自然交流圏の形成を図ります。



主要な施策

※全県的な施策については第2編基本計画（66P～198P）を参照してください

人

学校教育

- 磐城高校、磐城女子高校の男女共学化に伴う施設整備を図ります。
- いわき光洋高校の全日制課程について、校舎の移転整備を進めるとともに、定時制課程については、新しいタイプの定時制単位制高校として整備します。
- いわき中南部地区に学科転換による総合学科高校を開設します。
- 平養護学校及び聾学校平分校の改築整備を図ります。

社会教育

- 高等教育機関の集積を生かし、生涯学習機会の拡充や施設の地域開放を促進します。
- 体験学習やボランティアの実践活動の場として、ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）やいわき海浜自然の家の活用を図ります。

高等教育

- 国立福島工業高等専門学校の専攻科設置に向けた取組みを支援します。



松ヶ岡公園



いわき海浜自然の家



いかだ乗りの体験学習

くらし

保健・医療・福祉

- 地域の保健・医療・福祉の連携強化を図る拠点施設として、いわき市総合保健福祉センター（仮称）の整備を促進します。

生活交通

- 川前地区、田人地区等の中山間地域における生活道路等の整備を進めます。

| | |
|------------------|---|
| | <p>○JR常磐線の東京駅乗入れや磐越東線のダイヤ改正など、利用者の利便性の向上に努めます。</p> |
| アメニティ | <p>○広域交流の拠点となる小名浜港1、2号ふ頭再開発地区の環境整備を進めます。</p> <p>○四倉漁港や勿来漁港等について、緑地等親水機能の整備を進めます。</p> <p>○快適性の高い居住環境を創出するため、いわきニュータウンの整備を促進します。</p> <p>○良好な住宅及び宅地の供給を図るため、住宅宅地関連公共施設整備促進事業を進めます。</p> |
| 文化・スポーツ・レクリエーション | <p>○地域に伝わる歴史・文化資源等を生かした地域づくりの取組みを支援します。</p> <p>○市立美術館、文化ホールなど身近な文化活動施設の整備充実を促進します。</p> <p>○いわき地域における多様なスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、いわき公園の整備を図ります。</p> |
| 防災 | <p>○治水機能の向上を図るため、夏井川、藤原川、鮫川等の河川改修等を進めるとともに、土砂災害を未然に防止するため、中山地区等の地すべり対策や急傾斜地崩壊対策事業等を進めます。</p> <p>○久之浜海岸等において、海岸環境に配慮しながら海岸保全施設の整備を図ります。</p> <p>○防災拠点港である小名浜港において、耐震強化岸壁等の整備を進めます。</p> <p>○石油コンビナートの安全性を高めるため、自主保安体制の一層の充実を促進します。</p> |



21世紀の森公園



くらしの伝承郷



じゃんがら念仏踊



産業

農林水産業

- 稲作等の経営規模の拡大や冬期間の温暖な気象条件を生かした施設型園芸作物の振興による周年安定生産体制の確立を図るとともに、高速交通体系や都市近郊の立地を生かした販路の拡大を図ります。
- 中山間地域においては、標高差を生かした野菜、花き等による複合経営の確立を図ります。
- 都市近郊の条件を生かし、直売所の設置等による消費者との交流機会の拡大や、地域の農林水産物を組み合わせた加工品等の開発を支援します。
- 広域営農団地農道（いわき地区）の整備を図ります。
- 森林体験学習等の森林とふれあう機会の拡大を図るとともに、住民や森林ボランティア等による森林づくりを促進します。
- 木材の需要拡大と安定供給体制の確立を図るため、住宅関連産業との連携強化を進め、木材産業の体質改善と活性化を促進します。
- 豊かな海の環境を守り、水産資源の持続的利用を図るため、資源管理型漁業やつくり育てる漁業を進めます。
- 漁業経営の安定を図るため、水産物の加工による高付加価値化などを進めるとともに、漁業協同組合の再編整備を支援します。
- 漁業後継者に対する支援や女性、高齢者の就労機会の拡大のための就労環境の改善を促進します。
- 水産加工業の共同開発・生産体制の整備など高度化を促進するとともに、観光産業、外食産業との連携や浜の食文化PR活動の展開などにより、水産物の加工と消費の振興を図ります。
- 豊間（沼之内地区）等の漁港整備を進めるとともに、沿岸漁場の整備促進や水産物流通拠点整備の支援を検討します。

商工業

- 高等教育機関や民間企業の集積を生かし、産学官連携による共同研究等を促進し、地域企業の技術開発力の強化を支援します。
- 付加価値の高いものづくりを支援するため、ハイテクプラザいわき技術支援センターの機能充実を図ります。
- 小名浜港の外国貿易コンテナ定期航路の拡大を図るため、港湾サービス機能の高度化を進めるとともに、ポートセールス活動の積極的な展開を図ります。
- 小名浜地区における流通業務拠点整備に向けた取組みを支援します。
- いわき四倉中核工業団地の整備を進めるとともに、企業誘致の促進を図ります。
- 磐城工業用水道等について、老朽施設などの計画的な改良・修繕に努めます。

観光・リゾート・交流型産業

- 茨城県、栃木県、相双地域など周辺地域との連携による広域観光ルートの整備や、多彩な観光資源のネットワーク化による滞在型観光の振興を図ります。

- いわき海浜自然の家、ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）、いわきサンマリーナなどの交流施設や漁港を活用し、都市住民等との交流を通じて、海や漁業等に関する理解を促進するための取組みを支援します。
- 道の駅の整備に向けた取組みを支援します。
- 首都圏との近接性や高速交通体系、さらには森、川、海、温泉の多彩な観光資源など地域の特性を生かし、コンベンション機能の整備充実を促進します。
- 多彩な地域資源を活用した都市農村交流を通じ、観光と連携した農林水産業の振興など、交流型産業と多様な就業機会の創出を促進します。



いわき・ら・ら・ミュウ



重要港湾小名浜港



シクラメン栽培

環境

生活環境

- いわき地域公害防止計画により、大久川等の都市内河川の水質汚濁対策や道路交通公害対策、廃棄物・リサイクル対策を進めます。

自然環境

- 磐城海岸、勿来、阿武隈高原中部、夏井川渓谷県立自然公園において、優れた自然環境や美しい自然景観を保全するとともに、自然に学び、自然とのふれあいを体験する場としての整備を進めます。
- 夏井川や鮫川等において、魚や野鳥などの生息環境や周辺の自然景観との調和に配慮した多自然型川づくりを進めます。
- 夏井川や鮫川等を交流の軸とした流域連携など、「循環の理念」に基づき地域づくり団体等が行う自然環境保全に向けた取組みを支援します。
- ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）の海洋に関する研究機能の充実強化を図ります。



背戸峨廊（夏井川渓谷県立自然公園）



住民による境川浄化活動

基 盤

広域交通

- 磐越自動車道の4車線化を促進します。
- 常磐自動車道等と一体になって、地域発展の核となる都市圏の育成や広域的な交流を促進するいわき東道路について、地域高規格道路として整備の検討を進めます。
- 多核分散型の都市構造に対応し各拠点間の移動について定時性を確保するため、国道6号、49号のバイパス事業の促進を図ります。
- 小名浜港へのアクセス道路として、国道289号、主要地方道いわき石川線等の整備を進めるとともに、いわき西環状道路（仮称）の調査を進めます。
- いわき地域における交通ネットワークの要となる国道6号、49号、289号、399号、主要地方道等の整備を進めます。
- 小名浜港について、5、6号ふ頭の早期供用や東港地区（ポートアイランド）の建設促進など、国際港湾としての機能高度化を図ります。

中山間地域対策

- 高速交通体系の整備により、首都圏の人々が気軽に接することができる中山間地域として、ふるさとの雰囲気味わえる「田人おふくろの宿」、体験型の「いわきの里・鬼ヶ城」等の交流施設や多様な地域資源を活用し、さまざまなニーズに対応した交流を促進します。
- 冬期温暖な気候とふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）や「いわき・ら・ら・ミュウ」等の海浜交流施設により、年間を通じて高い水準にある集客力を活用し、中山間地域の地域資源や交流拠点と連携した森、川、海を結ぶ観光ルートを構築して、観光客の滞留性、周遊性を高めます。

| | |
|---------|---|
| | <p>○北関東はもとより、太平洋と日本海を結ぶ交流・連携の拠点として、新潟、会津、阿武隈高原地域との連携強化を図り、多彩なニーズに対応した広域交流ルートを整備を促進します。</p> <p>○首都圏と隣接する立地優位性と、SOHO等の先進的な取組みをモデルとして、首都圏からのＩターンの受入れ拡大や起業の促進を図り、就業機会の創出や活力ある地域づくりを進めます。</p> <p>○テレビ、ラジオの難視聴地域において、共同受信施設の整備を促進します。</p> |
| 中心市街地対策 | <p>○TMO（タウンマネージメント機関）の活動を支援し、魅力ある商店街の再生を進めるとともに、いわき駅前や平一町目などの市街地再開発事業や公園、街路等の整備を促進し、快適で利便性の高い中心市街地の形成を図ります。</p> <p>○常磐線主要駅周辺や小名浜地区の市街地整備を促進します。</p> <p>○中心市街地における都市魅力の創出・形成を図るため、質の高い文化・芸術を楽しめる拠点施設の整備を促進します。</p> |
| 広域連携 | <p>○阿武隈地域総合開発事業を推進し、道路網や上下水道施設など生活基盤の整備を進めるとともに、首都圏との近接性や高速交通体系を活用し、地域資源を生かした都市農村交流の促進を図ります。</p> <p>○21世紀FIT構想を推進し、北茨城地域等との広域交流圏の形成を図ります。</p> <p>○ふくしま沿岸域総合利用構想を推進し、相双地域との連携を図りながら、常磐自動車道や多様な地域資源を生かした魅力ある地域づくりを進めます。</p> <p>○新潟県を含めた磐越自動車道沿線地域において、地域資源を相互に活用した広域的な交流を促進します。</p> <p>○海洋とエネルギーに関する技術、文化及び交流等の特色ある機能の集積を図り、広域的な振興拠点を形成するいわき『海洋&エネルギー』交流拠点構想を促進します。</p> |



常磐及び磐越自動車道（いわきジャンクション）



小名浜港（外貿コンテナ）

